

LIMINAL SPACE 100

REO UCHIDA

LIMINAL SPACE 100

REO UCHIDA

はじめに

本書は「Liminal Space（リミナルスペース）」と呼ばれる「狭間の空間」を現実世界で探し、調査した記録冊子です。複数の発見者から寄せられた 100 点の Liminal Space を 4 つのカテゴリーに分類し、掲載しました。

Liminal Space には「狭間」が詰まっています。

普段であれば通り過ぎてしまうような、階段や廊下などの「狭間の場所」に、不気味さや奇妙さなどの「狭間の感覚」が重なることで人は何かを感じ、足を止めます。

本書を通して、誰かが見つけた「狭間」をご覧ください。

この本が、あなたが狭間に気づくきっかけになりますように。

内田玲央

目次

はじめに

003

Chapter 01 Liminal Spaceについて

Liminal Spaceとは / 定義

008

Liminal Spaceの歴史

009

本書の特徴

010

Chapter 02 Liminal Space 調査書

消えた生命の気配

011

001	dive	009	写経室	017	開催中！開催中！開催中！
002	終電過ぎ	010	鵜方駅	018	深夜じゃないのに
003	鑑賞のススメ	011	ひづみ	019	アメリカン・ドリーム
004	光	012	錯覚	020	早朝
005	ローカル線	013	digital	021	人気のない駅
006	伽藍堂が、あった	014	人間輸送工学	022	(無題)
007	食堂	015	油床	023	学問の世界
008	いりぐち	016	公民館		

コラム 人がいない場所を比較してみよう

あるはずのないもの

059

024	ゴルゴダの丘	032	とある大学の10階	040	人気のない白
025	真冬の向日葵	033	縄張り	041	行き止まり
026	意思あり風船	034	闇歯医者	042	引き返せ
027	musaliminal-1	035	恐怖心	043	神隠し
028	musaliminal-2	036	四叉路	044	(無題)
029	今から皆さんには	037	だるまさんがころんだ	045	(無題)
030	空白	038	夜のひまわり畑	046	かがみの孤城
031	小倉さんの椅子	039	(無題)	047	噴水のアレー

コラム Liminal Spaceの持つ物語性

とある構図

109

048	武蔵美のある渡し廊下	056	土合駅・2	064	背光
049	闇の第三教室	057	土合駅・3	065	イエローライン
050	馬喰町駅ホーム	058	土合駅・4	066	(無題)
051	musaliminal-3	059	(無題)	067	万が一
052	musaliminal-4	060	消失点が見える	068	(無題)
053	誘い	061	I've Been Walking on the Railroad	069	隣人
054	鉄骨煉瓦	062	# + C, # + V	070	まだ住んでますか？
055	土合駅・1	063	到着？		

コラム 「とある構図」の効果と実例

狭間に立ち止まる

157

071	不安	081	誰も座れない	091	湿気
072	(無題)	082	不気味	092	猿島のトンネル
073	curve	083	ファイナルラップ	093	近未来
074	(無題)	084	成田空港第三ターミナル	094	エスペニョーラ
075	鼻詰まりの産物	085	屋上への入り口	095	製糸
076	(無題)	086	煙人幻臭	096	公園のトイレ
077	エメラルドの都	087	灯	097	満月の練習
078	(無題)	088	bluegreen	098	静止
079	子どもにちゅうい	089	トイレへの道	099	夕方の部屋
080	私しか知らない	090	行き止まり	100	虚構の空

コラム 「奇妙」と「不気味」は違うもの

Chapter 03 Liminal Space のこれから

Liminal Space の楽しみ方

220

あとがき

223

用語集

224

参考文献

227

Chapter 01



はじめに

ようこそ、Liminal Space の世界へ

" post disquieting images that just feel 'off' "

2019年

英語圏を対象にした掲示板サイト「4chan」のスレッドにて

Liminal Space とは？

「Liminal Space」とは、一言で言えば「不気味な雰囲気を感じる空間」のことです。

「liminal」という言葉はあまり馴染みがないのではないでしょうか。

liminal【形】

《心理学》閾^{*}の、〔光や音などを〕感知できるか否かの境目にある

発音 límínl カナ リミナル 文節 lim·i·nal

(英辞郎 on the WEB)

直訳すると「閾^{*}の空間」となります。まだ言葉が難しいので、実際の作品を例に Liminal Space の 3 つの特徴について見てきましょう。

①人がいない

普段人が行き来する場所が無人になっている状況は Liminal Space になりやすいです。

②普段立ち止まらない場所

廊下・階段・出入り口など、出発地点から目的地までの間の空間に多く見られます。

③妙な雰囲気を感じる

喜怒哀楽などの明確な感情とは異なる、不気味・奇妙などの不明瞭な感覚を抱きやすいです。



図1

あなたが Liminal Space だと思えば、そこは Liminal Space です。しかし、この 3 つの要素が合わさった場所は特に Liminal Space になる可能性が高まります。

Liminal Space の定義

上記を踏まえて本書では Liminal Space を以下のように定義します。

不明瞭な感覚を引き起こす無人の空間

Liminal Space の歴史



Liminal Space の歴史は浅く、2019 年に英語圏を対象にした掲示板サイト「4chan」に 1 枚の画像が投稿されたことが始まりであるとされています。(左図) 画像は「この写真のように『何か変な感じがする』写真を投稿して欲しい」という文とともに投稿されました。



Kane Pixels
『The Backrooms (Found Footage)』
<https://www.youtube.com/watch?v=H4dGpz6cnHo>

世界中で「何か変な感じがする写真」が投稿されるうちに、Liminal Space はネットミームとして認知度が高まります。さらに、今まで静止画像として認識されていた Liminal Space が動画やゲームなどへ表現の幅を広げることで、より多くの人々がその存在を知ることになります。2022 年には当時 16 歳のアメリカの少年 Kane Pixels が『The Backrooms (Found Footage)』という短編動画を公開し、この映像作品をモチーフに複数のゲーム作品が発売されました。動画の視聴者・ゲームのプレイヤー・ゲーム実況の視聴者など、新しい形で Liminal Space を楽しめるようになりました。

日本では、インターネットの黎明期に「くねくね」や「きさらぎ駅」などの「ネット怪談」や、オカルトサイト「SCP 財団」が流行しました。近年は「変な家」(2020)、モキュメンタリーの手法を使ったフェイクドキュメンタリー番組〈TXQ FICTION〉(2024)、クリエイター集団「第四境界」(2024)、ゲーム《8 番出口》(2023)などの「不気味」や「奇妙」なものに関する作品への関心が高まっています。今後 Liminal Space が盛り上がりを見せる可能性が大いにある状況です。

本書の特徴

本書では現実世界で実際に発見された

100 件の Liminal Space を調査書の形式でまとめました。

消えた生命の気配、あるはずのないもの、とある構図、狭間に立ち止まる
の 4 つのカテゴリーにわかれています。

Chapter 02

Liminal Space 調査書



①写真

発見者による撮影です。

②登録番号

1 から 100 までを番号をつけました。

③タイトル

無題の場合は「(無題)」と記載します。

④発見年月日

各カテゴリーで日付順に掲載しています。

⑤発見時刻

00 時 00 分～23 時 59 分で表記します。

⑥発見者

匿名の場合は「(不明)」と記載します。

⑦発見者生年月日

不明の場合は「(不明)」と記載します。

⑧発見場所

通常 丸型



曖昧な場合はピンが丸型です。

⑨発見者所感

発見者の所感を記載しています。

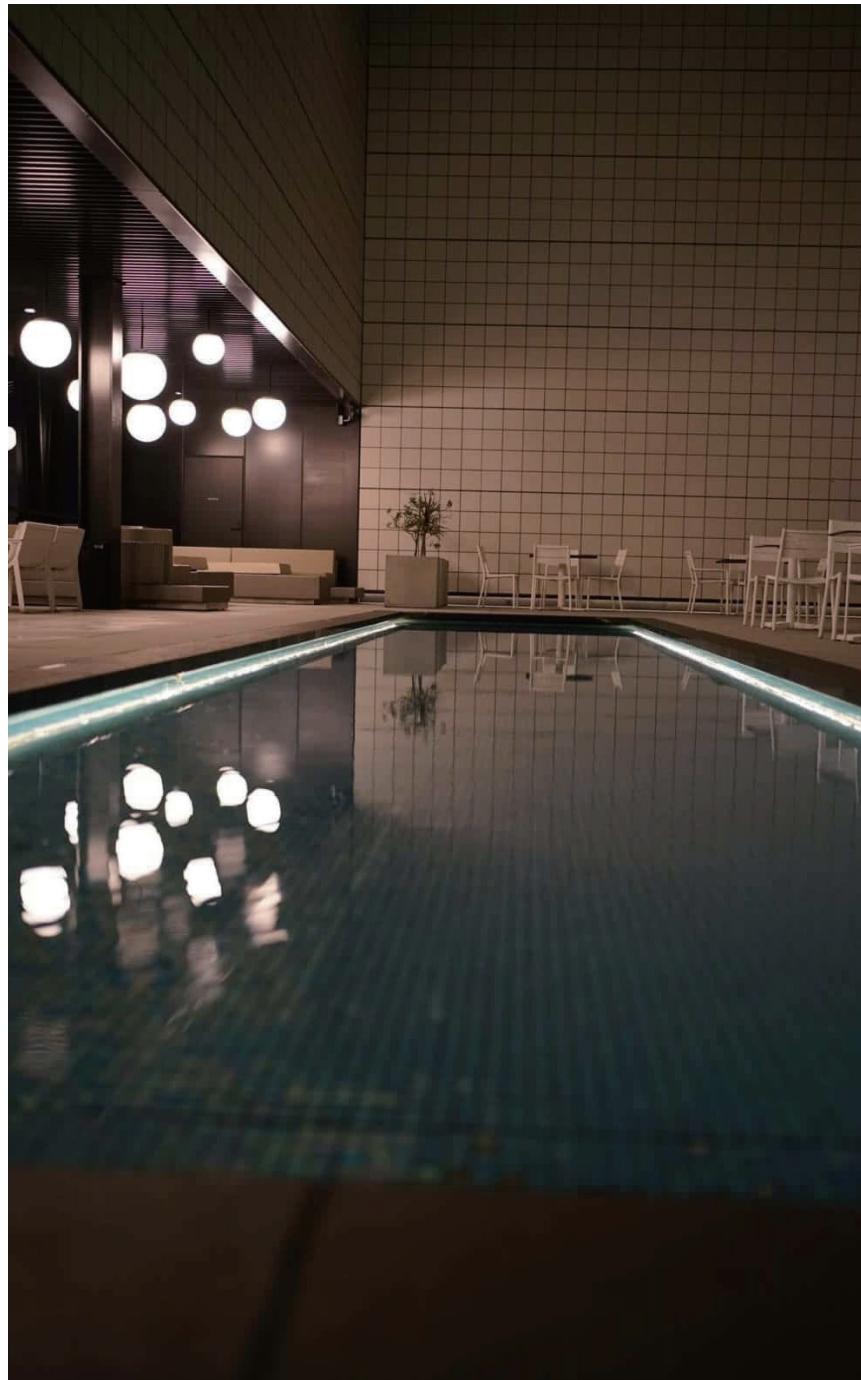
⑩監修者所感

監修者である内田の所感を記載します。

消えた生命の気配

このカテゴリーでは、「無人」が際立つ Liminal Space を集めました。

普段は人で賑わう場所の、別の姿をご覧ください。

登
録
番
号

001

dive

■発見年月日

2021年12月15日(水)

■発見場所

銀座のどこか

■発見時刻

18時43分

■発見者

しみしゅー



■発見者生年月日

2003年04月21日

■発見者所感

友人と撮影散歩に出かけた時にふと

■監修者所感

水の持つ静けさと恐ろしさは Liminal Space と相性が良く、2024

年に《POOLS》という Liminal Space をテーマにしたゲームも販

売されています。水面に映る世界が美しいです。

登 録 番 号	002	終電過ぎ
------------------	-----	------



■発見年月日

2023年11月13日(月)

■発見場所

千葉県松戸市六実 4-6-1 六実駅

■発見時刻

01時13分

■発見者

Wisteria



■発見者生年月日

2003年08月12日

■発見者所感

終電で帰ってきて、コンビニに寄って帰ろうとした時に撮影した。
 いつも利用する駅だが、電気がついておらず、電車もなく、人も
 いない。それが不気味に感じた。本当に待っても電車が来ないん
 だなって感じがした。

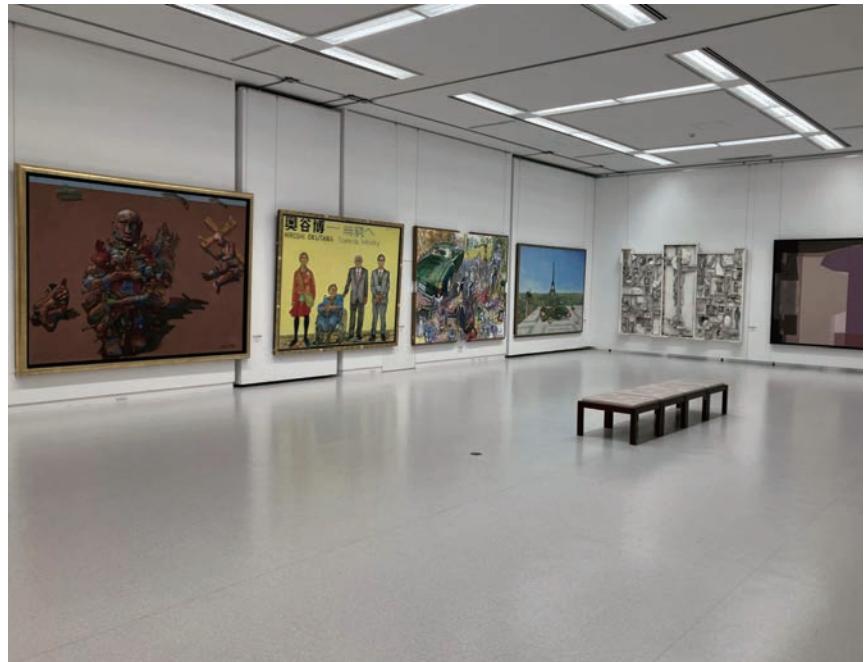
■監修者所感

多くの人が利用する駅も、終電を過ぎると昼間とのギャップで不
 気味に感じられます。特に電光掲示板の「調整中」から不気味さ
 を感じます。全開の改札に誘われてしまいそうです。

登
録
番
号

003

鑑賞のススメ



■発見年月日

2025年02月21日(金)

■発見場所

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園
1-6 福岡市美術館

■発見時刻

15時43分

■発見者

N嶋



■発見者生年月日

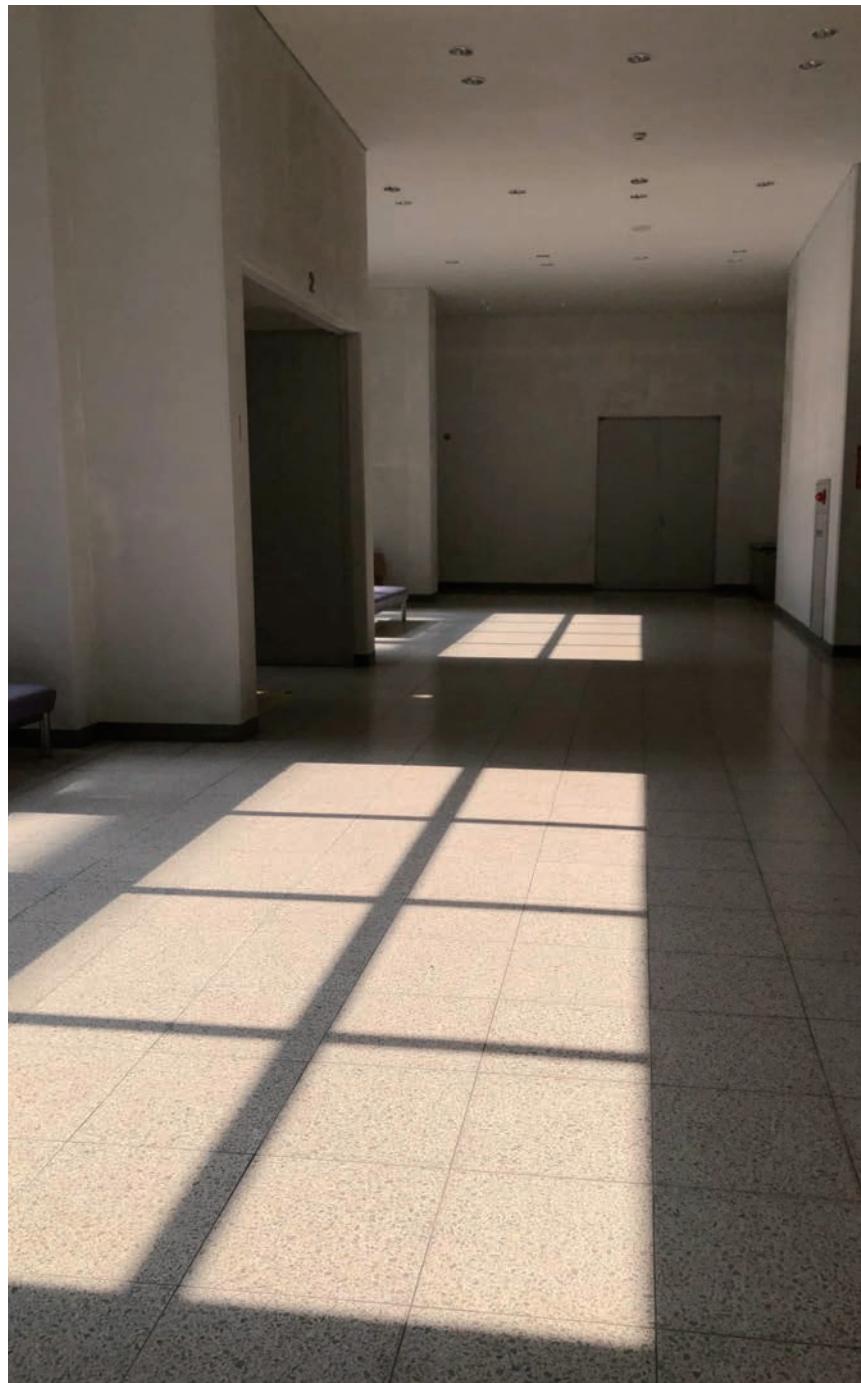
2003年07月05日

■発見者所感

椅子が絵を見てるみたいじゃないですか？「ふんふん、なるほどね」「この絵が好きだなあ」とか言って普通に動いて展示を見てまわりそうじゃないですか？ただの椅子とは思えない感じがして、座らないで隣に立って見たくなる、そんな気がします。

■監修者所感

Liminal Space の「無人」という特徴が、人ではなく物が主役のように見える印象を与えています。座らずに、隣に並んで鑑賞したのです。

登
録
番
号

004

光

■発見年月日

2025年07月03日(木)

■発見場所

〒739-0046 広島県東広島市鏡山
1-3-2 広島市立大学構内

■発見時刻

08時53分

■発見者

吉村暖禾



■発見者生年月日

2006年04月05日

■発見者所感

エレベーターを待っている時、撮影しました。直線や、かげと光のコントラストが心地よいと感じました。登校したばかりなのに、異空間に迷い込んだ感覚になりました。

■監修者所感

Liminal Space は不気味なだけでなく心地よさ・懐かしさを与える場合があります。窓から差し込んだ光が綺麗に格子状になっており、床下へのドアのように見えます。



登 録 番 号	005	ローカル線
------------------	-----	-------

■発見年月日

2025年07月12日(土)

■発見場所

〒271-0051 千葉県松戸市馬橋121 馬橋駅

■発見時刻

21時11分

■発見者

下野凜



■発見者生年月日

2001年10月28日

■発見者所感

普段通勤の時に乗っている電車には必ず人がいますが、たまたま
ローカル線に乗るとこんな写真が取れることに気づきました。今
まで気にしていなかっただけに新しい視点が芽生えました。

■監修者所感

『千と千尋の神隠し』や〈Harry Potter〉シリーズなど、電車が異
世界へ繋がる役割を持っている作品が存在します。生活に馴染み
があるからこそ、異世界へシームレスに移行できています。

登
録
番
号

006

伽藍堂が、あった



■発見年月日

2025年07月18日(金)

■発見場所

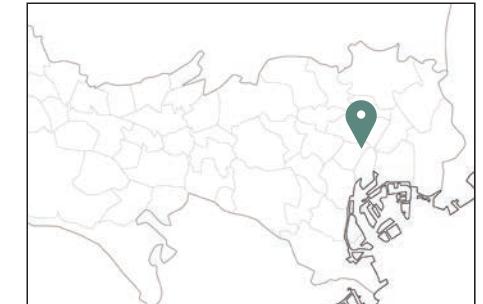
〒101-0021 東京都千代田区外神田
1-16 秋葉原駅

■発見時刻

19時47分

■発見者

N嶋



■発見者生年月日

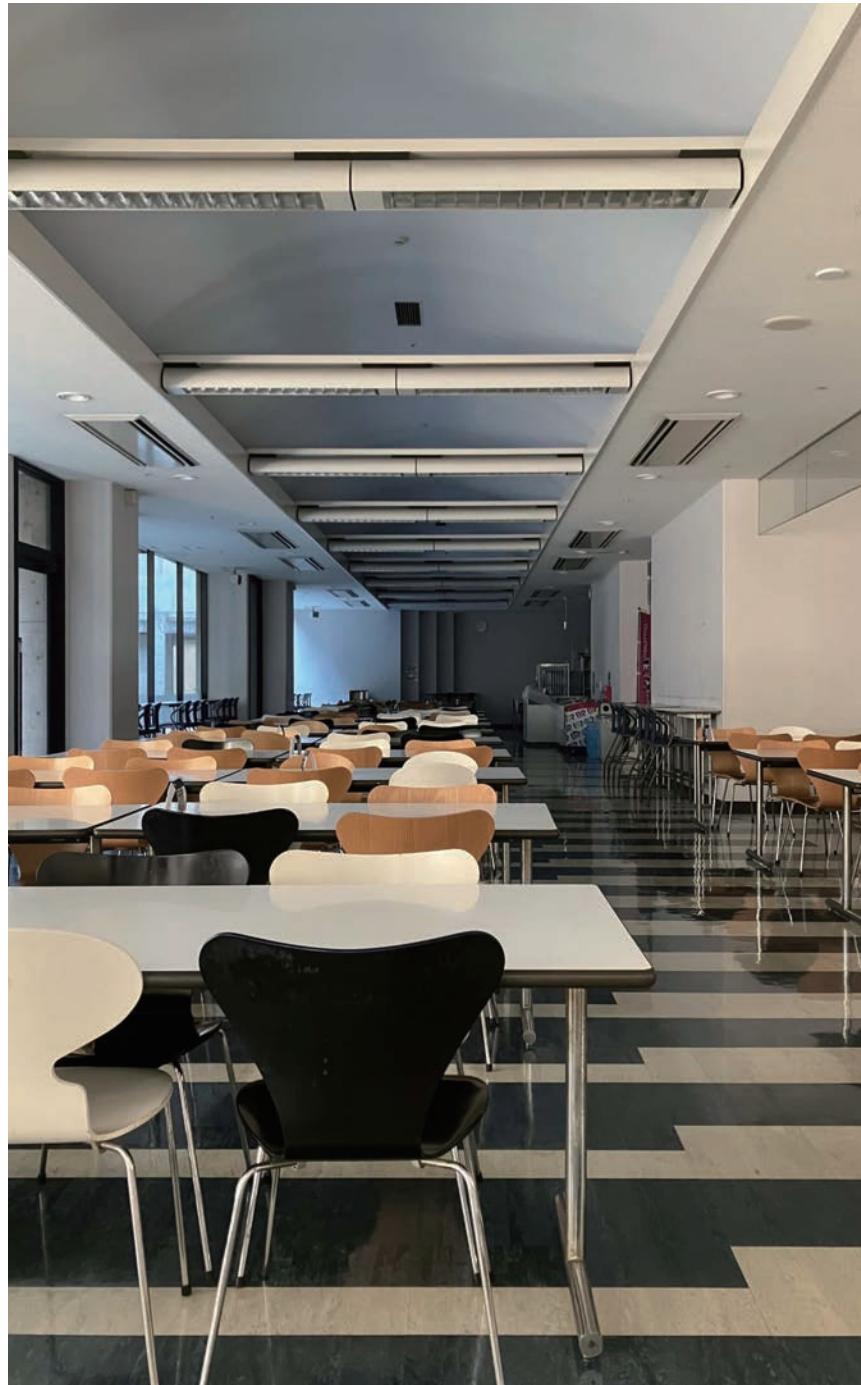
2003年07月05日

■発見者所感

いつもバイト先から帰る時に向かい側に見えるエスカレーター、誰も使っていないんです。気になったので行ってみると奥の通路にはたくさん人がいるのに駅の方に来なくてだだっ広い空間になっていました。

■監修者所感

ここが秋葉原駅だからこそ Liminal Space に感じられた可能性があります。郊外の駅では当たり前の景色かも知れません。その土地によって Liminal Space になったりならなかったりします。

登
録
番
号

007

食堂

■発見年月日

2025年07月30日(水)

■発見時刻

10時36分

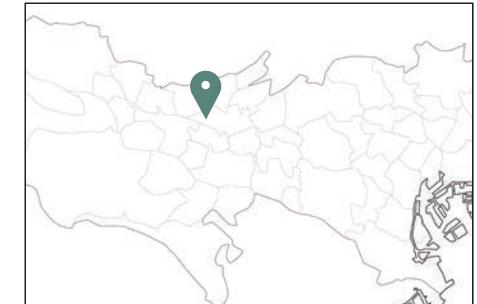
■発見者

N嶋

■発見者生年月日

2003年07月05日

■発見場所

東京都小平市小川町1-736
武蔵野美術大学12号館 地下食堂

■発見者所感

ご飯を食べる、椅子がいっぱいある、普段人がいる場所なのにその役割を1つも果たしていません。椅子の種類がバラバラです。ちなみに床の模様、ピアノの鍵盤に似ていませんか？

■監修者所感

無人の学校や大学はやはり普段の賑やかさとの差が際立ちます。床の模様、確かに黒鍵のようなデザインになっていますね。

登
録
番
号

008

いりぐち

■発見年月日

2025年08月01日(金)

■発見場所

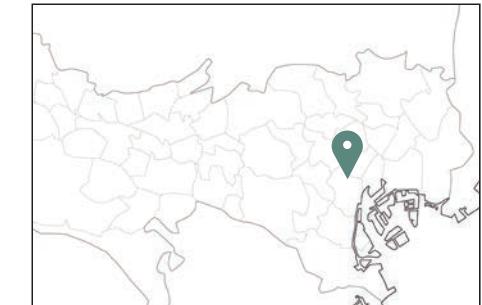
〒107-0052 東京都港区赤坂 9-7-39
六本木駅

■発見時刻

12時11分

■発見者

松本



■発見者生年月日

2003年02月11日

■発見者所感

忙しなく動く人たちの波に乗り遅れただけなのになんだか不安になりました。

■監修者所感

ゲームや映画が大ヒットを記録した「8番出口」を彷彿とさせる Liminal Space です。舞台が日常に近い作品だからこそ、没入感が生まれます。奥からおじさんが歩いてきそうです。

登 録 番 号	009	写経室
------------------	-----	-----



■発見年月日

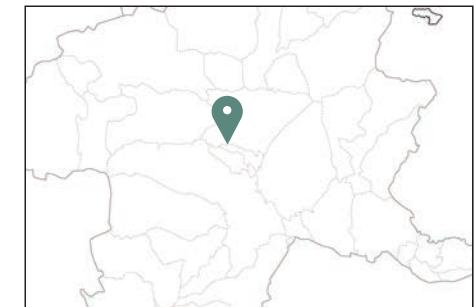
2025年08月11日(月)

■発見場所

〒377-0102 群馬県渋川市伊香保町伊香保 637-43 佛光山 法水寺

■発見時刻

12時51分



■発見者

N嶋

■発見者生年月日

2003年07月05日

■発見者所感

写経がしてみたくて行ったお寺の写経室です。写真を撮らせていただきました。回転率を意識した写経室で、既に道具が準備されており、終わったら道具を戻して勝手に退出するスタイルでした。後ろのドアも少し開いていて全体的に不自然な体験でした。

■監修者所感

空間だけでなく体験のおかげで Liminal Space の不気味さが際立っています。観光を意識した神社や寺では本来の雰囲気が損なわれている場合が多くある気がします。



登 録 番 号	010	鵜方駅
------------------	-----	-----

■発見年月日

2025年08月11日(月)

■発見場所

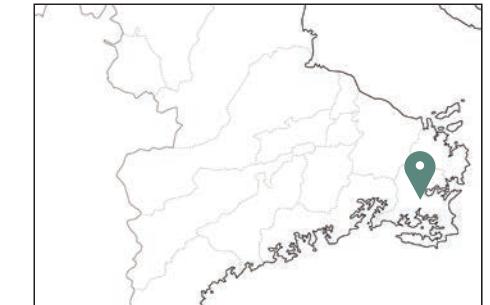
〒517-0501 三重県志摩市阿児町鵜方
鵜方駅

■発見時刻

21時04分

■発見者

杉浦璃々子



■発見者生年月日

2003年08月11日

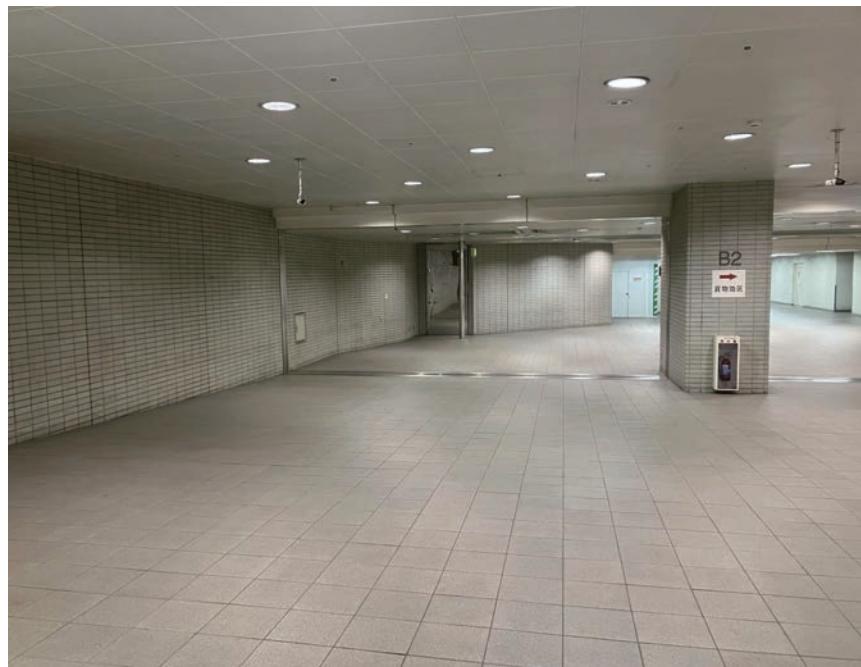
■発見者所感

志摩スペイン村へ行った帰り、電車の本数が少なく30分駅で待つことになりました。そろそろホーム降りようか、と階段を下った時に撮った1枚です。一応（シャトルバスで20分の距離とはいえ）テーマパーク最寄り駅のはずなのに人の気配がせず、薄ら怖かったです。

■監修者所感

1番線は賢島方面行きのみで時計がひとつあるだけですが、2番線は行き先の多さからか電光掲示板が設置されています。待遇の違いが顕著に現れていてチグハグさが面白い Liminal Space です。

登 録 番 号	011	ひづみ
------------------	-----	-----



■発見年月日

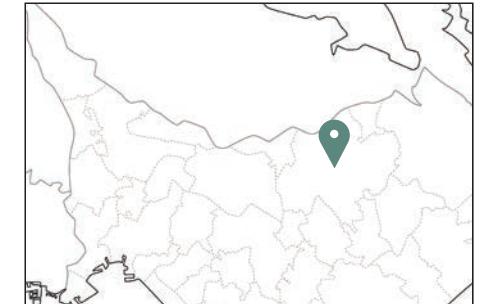
2025年08月14日(水)

■発見場所

〒282-0011 千葉県成田市三里塚御料牧場 1-1 成田空港駅

■発見時刻

11時45分



■発見者

N嶋

■発見者生年月日

2003年07月05日

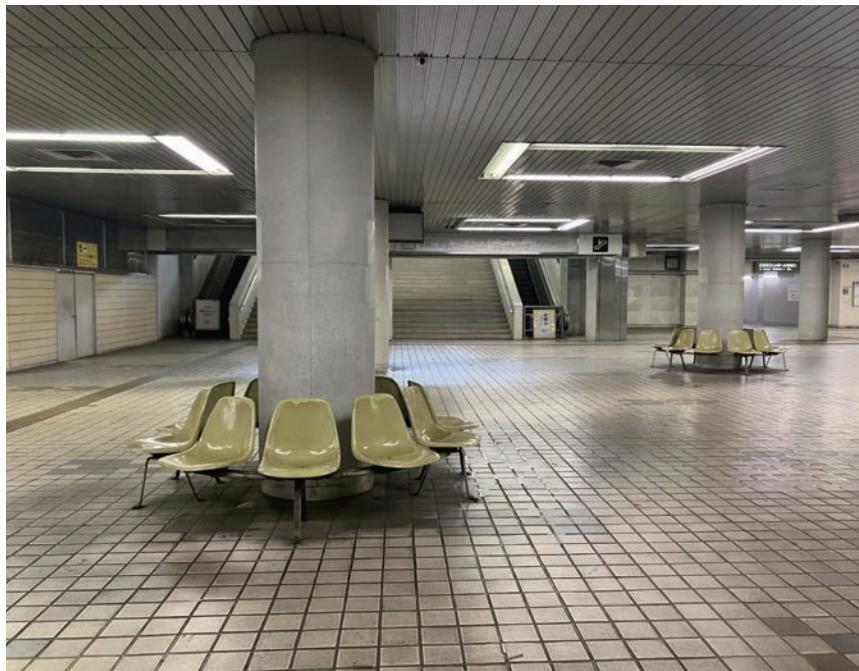
■発見者所感

最初はただ広いな、と思って見ていたんですが奥の扉が金属でできているので反射していて、スーパーマリオ64で絵に入ってステージ移動するときみたいになっていました。もしかしたら別ステージに行けたかもしれません。

■監修者所感

ゲーム『スーパーマリオ64』に対して「怖い」という印象を持っている人は少なくありません。3Dゲームの黎明期ならではの歪な動きが不気味さを醸し出していると考えています。

登 録 番 号	012	錯覚
------------------	-----	----



■発見年月日

2025年08月14日(木)

■発見場所

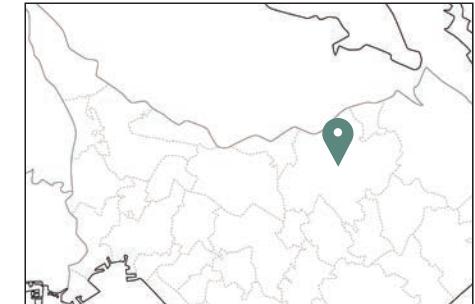
〒286-0104 千葉県成田市古込
東成田駅

■発見時刻

15時20分

■発見者

N嶋



■発見者生年月日

2003年07月05日

■発見者所感

東成田駅ホームです。よく錯覚の例で見る絵に似ているなと思いました。椅子の色味に全体の雰囲気が似ていることと、全く同じものが奥にあるというデザインが変に感じました。規則性がかかるって気持ち悪いです。

■監修者所感

この形の椅子は駅でよく見ますが、丸く並んでいるのはあまり見ないからこそ不気味さが際立っていると思います。椅子が横に並んでいたらきっとここまで心が動かないのではないかでしょうか。

登 録 番 号	013	digital
------------------	-----	---------



■発見年月日

2025年08月14日(木)

■発見場所

千葉県成田市三里塚御料牧場 1-1
成田空港第1ターミナル

■発見時刻

18時10分



■発見者

N嶋

■発見者生年月日

2003年07月05日

■発見者所感

『SUPERLIMINAL』というゲームに大きいデジタル時計が出てきます。これと全く同じ、黒に赤の数字のデジタル時計です。私はこのゲームをプレイしていたから不気味に思うのですが、そうでない人はそうでもないのでしょうか。

■監修者所感

時計の存在感を強く感じます。周りの雰囲気が灰色でシンプルにまとまっているため、赤い数字の差し色に不安感を覚えました。

登
録
番
号

014

人間輸送工学

■発見年月日

2025年08月14日(木)

■発見場所

成田空港第3ターミナル

■発見時刻

22時12分

■発見者

桐生千輝



■発見者生年月日

2003年06月13日

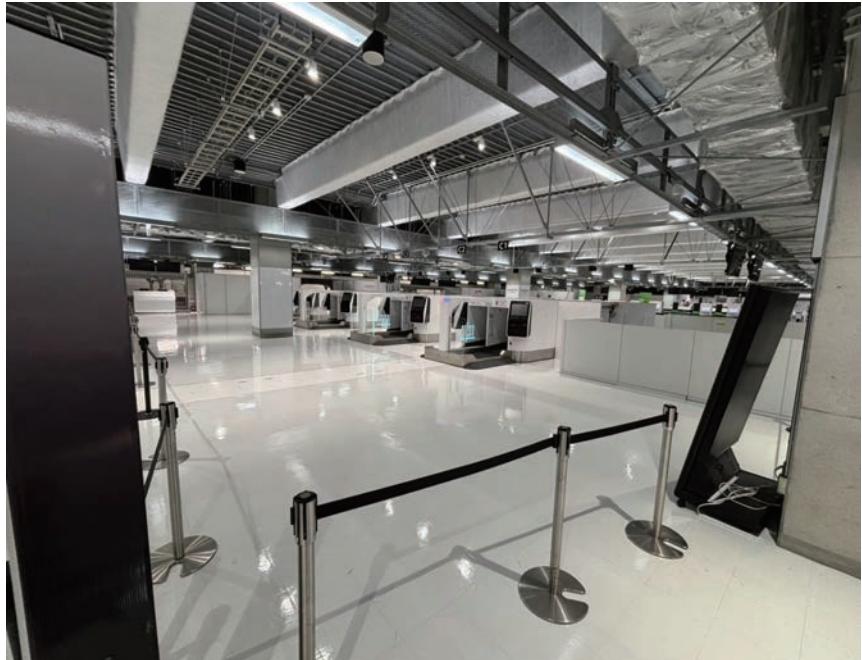
■発見者所感

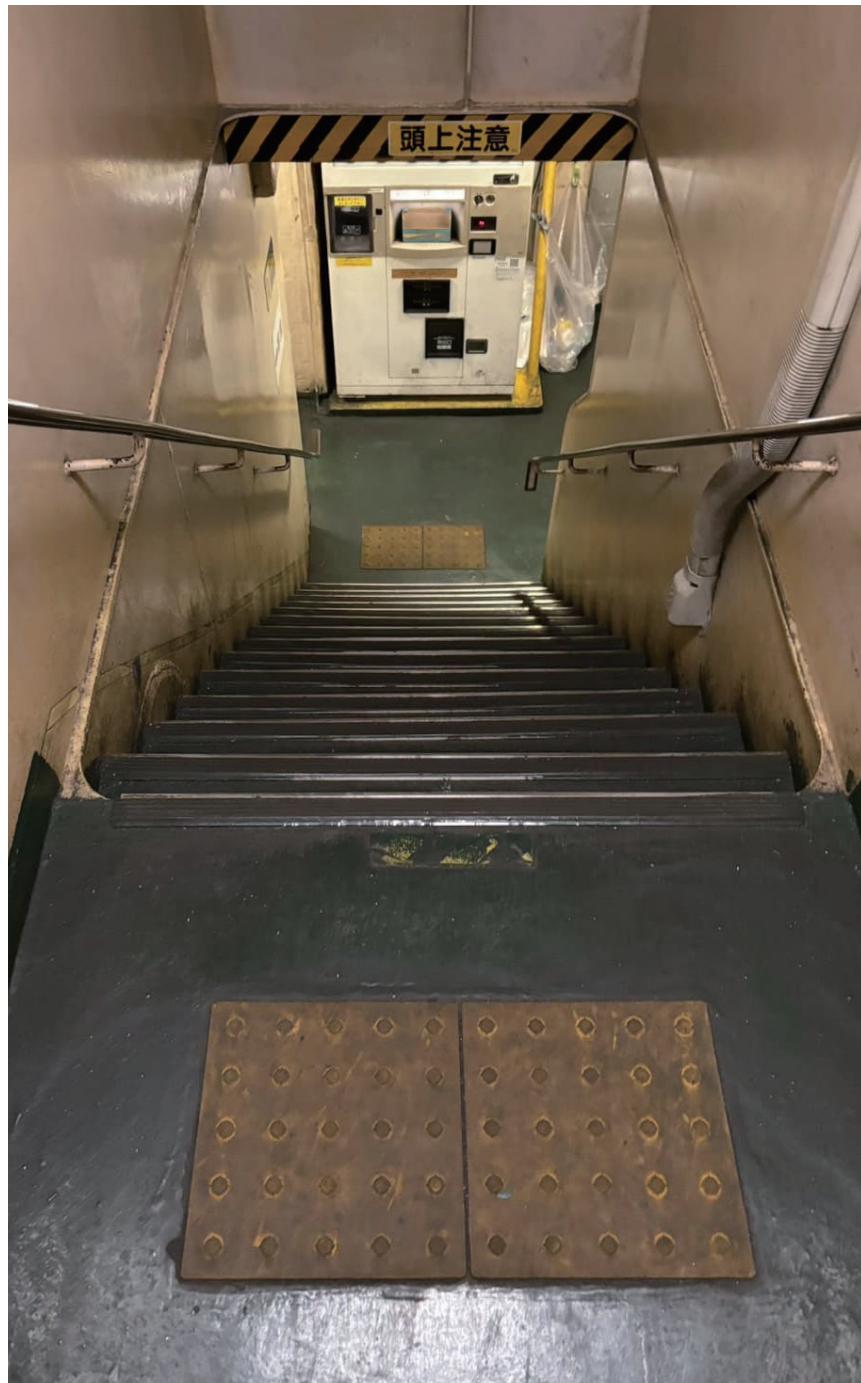
機械に支配された人間はこの機械に詰められて輸送されそうと思った。

■監修者所感

空港は出発地点と目的地の間の空間で Liminal Space になりやすく、加えて広さと機械の多さに無機質な印象を受けます。無人の

空港はどこを切り取っても Liminal Space になりそうです。



登
録
番
号

015

油床

■発見年月日

2025年08月15日(金)

■発見場所

フェリーハイビスカス

■発見時刻

00時13分

■発見者

桐生千輝

NO IMAGE

■発見者生年月日

2003年06月13日

■発見者所感

勢いでフェリーに乗ることを決意した俺たちは、夜飯がないことにふと気づく。そんな俺たちの前にカップラーメンの自販機が現れる。次回「空腹の絶頂。勇み立つ足。滑りゆく友！！！」

■監修者所感

写真からは想像もできないエキサイティングな一コマであること
が所感から伝わってきました。写真を取るに至った背景を知ることで Liminal Space の印象が大きく変わりました。

登
録
番
号

016

公民館

■発見年月日

2025年08月16日(土)

■発見場所

〒272-0121 千葉県市川市末広 1-1-29

■発見時刻

18時07分

■発見者

田邊和



■発見者生年月日

2005年06月09日

■発見者所感

トイレに行った際に見つけた。写真だと少し明るいが、実際は少し暗く不気味に感じたため目に止まった。

■監修者所感

やはり写真で見たときと実際にその場にいるときでは、感じ方が大きく異なることが明らかだと思います。肉眼で見た明るさや、気温や音が伝わらないことが写真の惜しい点です。

登
録
番
号

017

開催中！開催中！開催中！

■発見年月日

2025年08月18日(月)

■発見場所

〒136-0071 東京都江東区亀戸 5-2-6
サンエービル 1~5F

■発見時刻

17時53分

■発見者

yudaiori



■発見者生年月日

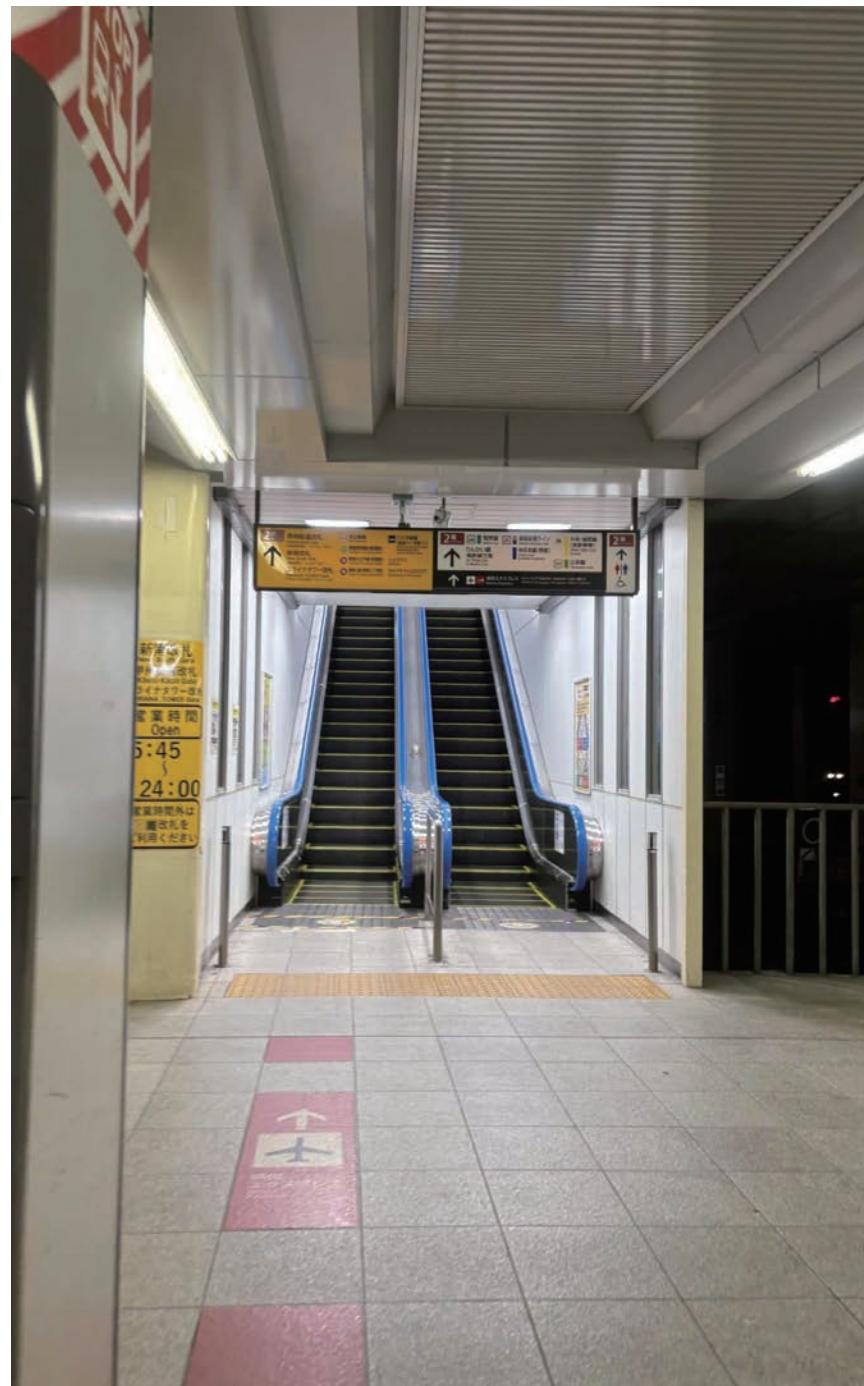
1998年10月28日

■発見者所感

友人とご飯に行く前に散歩をしていたら、外が暑すぎて涼みに入ったゲームセンターです。店内に人はいるのですがこの列だけ誰もいなくて不気味でした。明るさとカラフルさに対して無人にあることに違和感を感じました。

■監修者所感

「開催中」の圧を感じます。POPが賑やかにしてくれているにもかかわらず誰もいない状況への寂しさを感じました。天井の無骨さからも空間へのチグハグさを感じます。

登
録
番
号

018

深夜じゃないのに

■発見年月日

2025年08月19日(火)

■発見場所

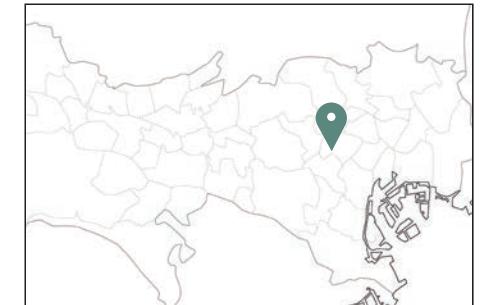
〒160-0022 東京都新宿区新宿3-38-1
新宿駅

■発見時刻

21時00分

■発見者

ふちゃん



■発見者生年月日

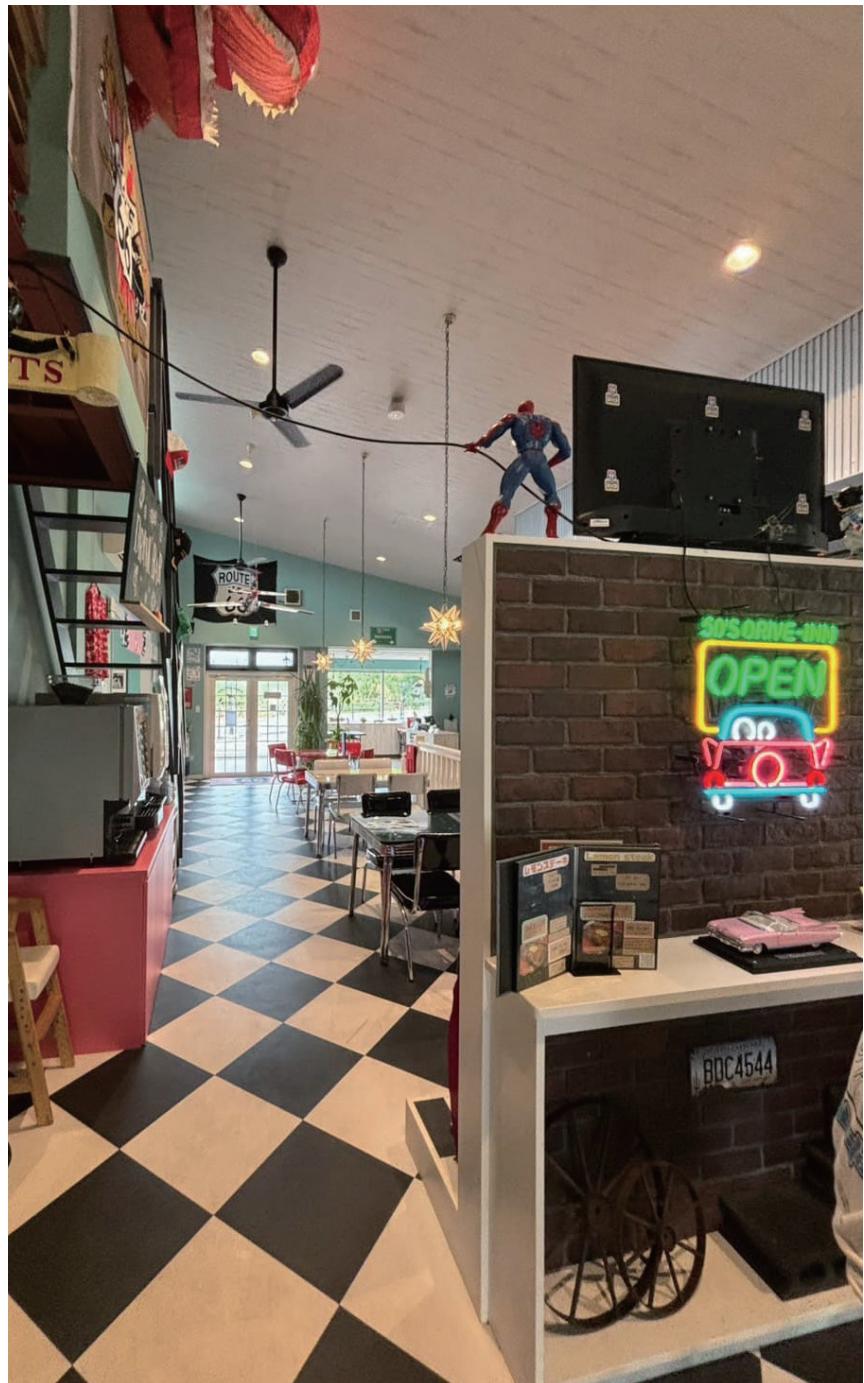
2004年02月21日

■発見者所感

夜行バス乗り場への移動中、新宿なのに人気がなかったから。

■監修者所感

登録番号006の秋葉原のLiminal Spaceでも触れたように土地が
 相まって奇妙な拍車がかかっている場合があります。実は新宿
 駅の利用者数は世界一だそうです。

登
録
番
号

019

アメリカン・ドリーム

■発見年月日

2025年08月28日(木)

■発見時刻

11時02分

■発見者

桐生千輝

■発見者生年月日

2003年06月13日

■発見場所

長崎県佐世保市船越町 1624-1 佐世保
アメリカンヴィレッジダイナー

■発見者所感

かつて賑わっていたこの店も、今やすっかり人がいなくなってしまった。そんな中ある男が立ち上がる。

■監修者所感

きっとお客様が入っていたら不気味に思わなかつたであろう
Liminal Space です。所感からも感じられるように一気にある男が
主役になっています。がんばれ……！

登
録
番
号

020

早朝

■発見年月日

2025年09月06日(土)

■発見場所

〒271-0061 千葉県松戸市栄町西
4-1171-1

■発見時刻

06時48分

■発見者

ひろ



■発見者生年月日

2003年08月26日

■発見者所感

ドアを開ければ音楽が聞こえてくるけれど、廊下には人気がない
という対比が不思議に感じた。

■監修者所感

開店前のカラオケ店について考えたことがなく、確かに無人だけ
れど音が鳴っている瞬間があることに気がつきました。賑やかさ
がかえって不気味さを引き立てています。

登
録
番
号

021

人気のない駅



■発見年月日

2025年09月06日(土)

■発見時刻

18時38分

■発見者

まるり

■発見者生年月日

(不明)

■発見場所

〒290-0225 千葉県市原市牛久
897-2 上総牛久駅

■発見者所感

まだ夜の18時38分。明るく照らし出された駅のベンチに誰もいないのが不気味でした。

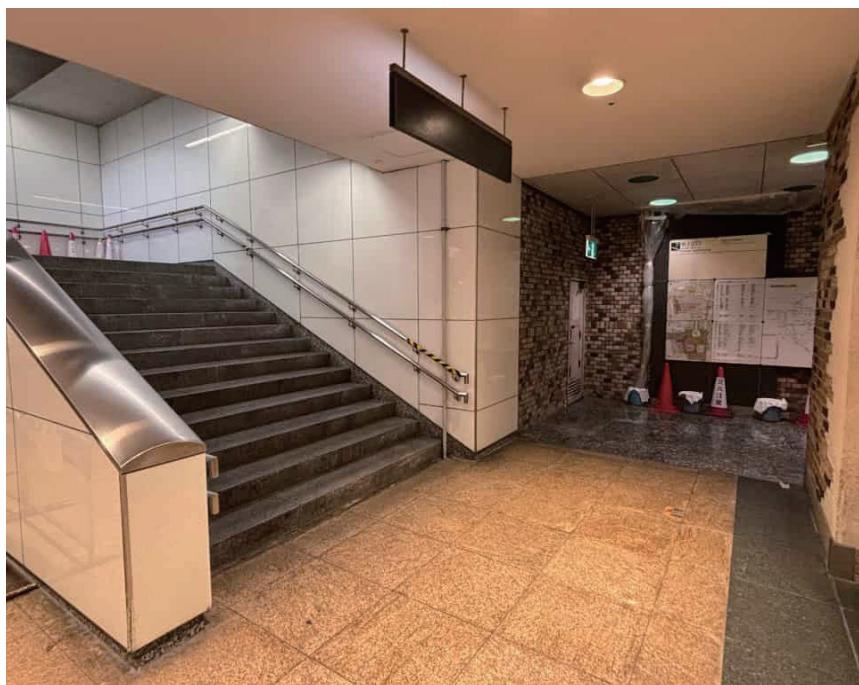
■監修者所感

3つの白いベンチに紛れて並んでいるベンチに興味を持ちました。

FRPパブリックベンチと言います。同じような顔で並んでいます。

仲間に入れてもらったみたいです。

登 録 番 号	022	(無題)
------------------	-----	------



■発見年月日

2025年09月18日(木)

■発見場所

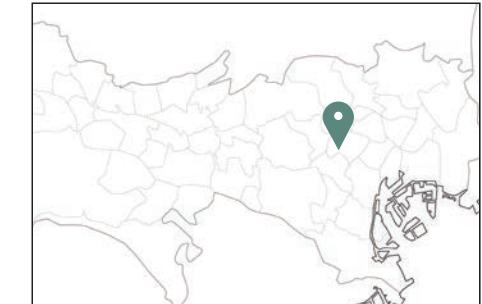
〒160-0022
東京都新宿区新宿3-38-1 新宿駅

■発見時刻

12時49分

■発見者

やっぴー



■発見者生年月日

2003年06月05日

■発見者所感

新宿駅の人がないところで待ち合わせがしたくて見つけた場所。

切継ぎみたいな空間が面白い。

■監修者所感

確かに階段側、床、奥の通路、天井で素材が異なり、パッチワーグのようになっています。2つ目の新宿駅での Liminal Space です。

無人ですが雨漏り対策のバケツから人間味を感じました。

登
録
番
号

023

学問の世界



■発見年月日

2025年11月03日(月)

■発見時刻

17時05分

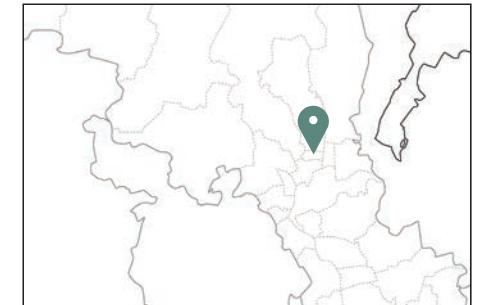
■発見者

すぎさち

■発見者生年月日

1966年05月08日

■発見場所

〒600-8153 京都府京都市下京区廿人
講町36 重信会館

■発見者所感

偉いお坊さんの話を聞いている人たちの気配がしました。

■監修者所感

左の襖が開いていて、全体の雰囲気に似合わない大きなバケツが
見えています。この襖に違和感と奇妙さが集まっているように感じられます。

人がいない場所を比較してみよう

Liminal Space の特徴として「人がいない」と述べましたが、この特徴は暗黙のルールと言って良いほど、Liminal Space を構成する重要な要素となって

います。このコラムでは有人の場合と無人の場合でどれくらい雰囲気が変わるのが、実際の写真を比較して見てみましょう。



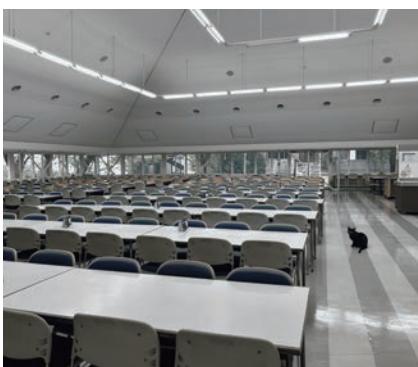
※個人情報保護およびプライバシー配慮の観点から、画像を一部を加工しています。

上の写真は武蔵野美術大学の食堂です。人がいるときはごく普通の昼時の食堂ですが、人がいなくなるとどこか寂しい雰囲気を醸し出しています。それだけではなく、生命の気配を感じられないことで、椅子の数の多さや規則性が際立ち、不気味さが発生しているのではないでしょうか。これが Liminal Space の基礎かつ重要な要素である「無人」です。

もしここに人以外の動物が写っていたとしても、それは Liminal Space ではないと私は思います。生き物がいるだけで一気に情報が増えます。

例えば猫がいたら「猫が生活できるだけの環境である」という情報が増え、空間の不気味さが減少します。

生命の気配とは知らずのうちに私たちに安心感をもたらしているのです。



※猫は合成です。

Chapter 02

Liminal Space 調査書

あるはずのないもの

このカテゴリーでは、あるはずのないものがある Liminal Space を集めました。
偶然や自然発生による不気味さをご覧ください。



登 録 番 号	024	ゴルゴダの丘
------------------	-----	--------

■発見年月日

2023年07月29日(土)

■発見場所

(不明)

■発見時刻

10時04分

■発見者

(不明)

NO IMAGE

■発見者生年月日

1998年10月28日

■発見者所感

本当にここに木が生えていたのだろうかと疑うほどに周りには何もない。周りには川が流れているのに、ここだけ焼け野原みたいだと思った。やけにさっぱりしていて、全てを終わらせるにはちょうどいいと思った。

■監修者所感

「空間か？」という点については微妙ですが、報告者が Liminal Space だと思えばそれは Liminal Space です。確かに燃えてしまつたあとのように見えます。

登
録
番
号

025

真冬の向日葵

■発見年月日

2024年01月08日(月)

■発見場所

〒270-0031
千葉県松戸市横須賀1-8-1

■発見時刻

11時18分

■発見者

N嶋



■発見者生年月日

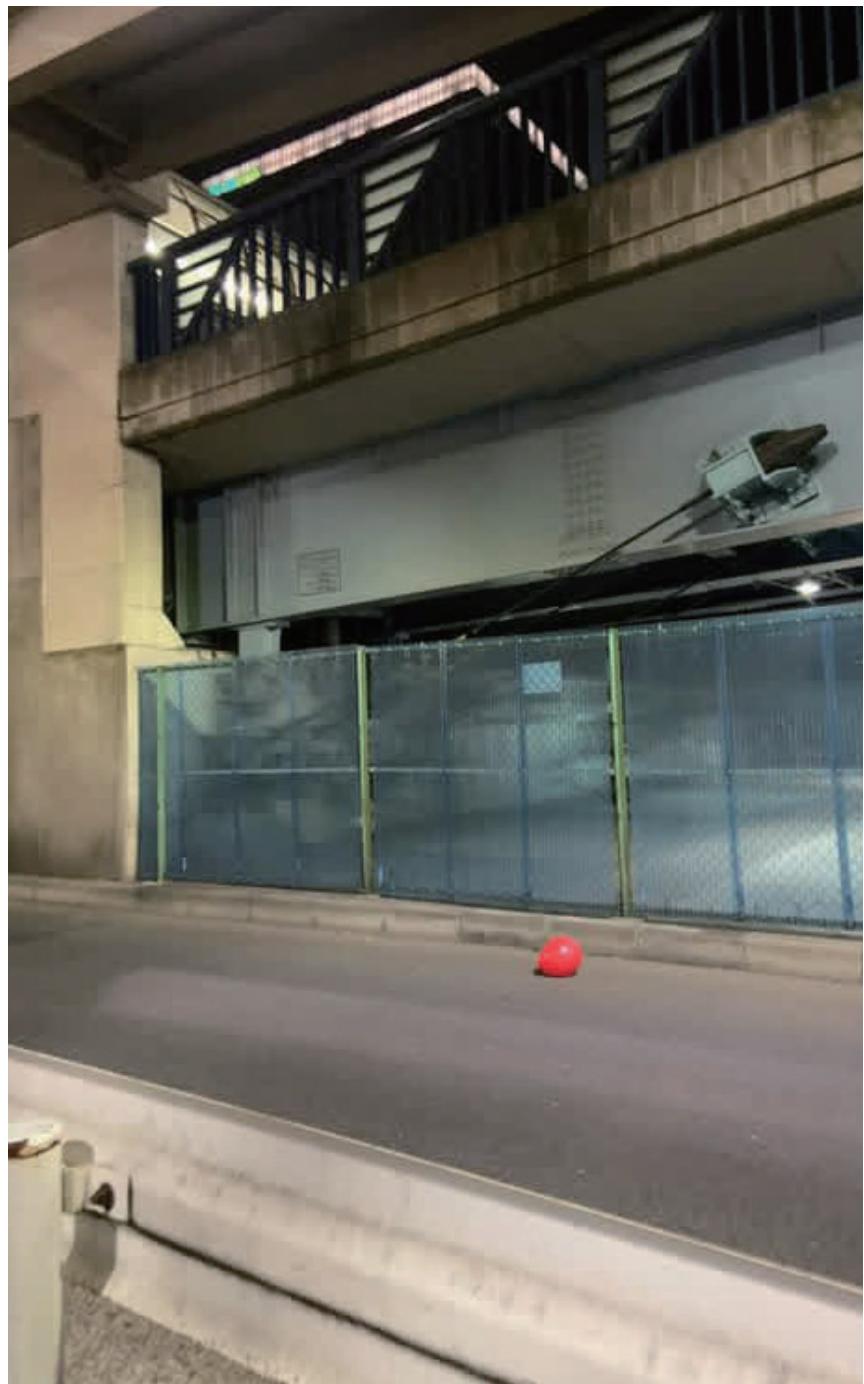
2003年07月05日

■発見者所感

ありえないです。真冬の1月に向日葵が群れになって咲いていて
目を疑いました。向日葵って1つの茎に1つの花じゃないんです
か？おそらくまんじゅうしてるの？

■監修者所感

こちらも「空間か？」と言われば怪しい Liminal Space ですが
あなたが思えば間違いなく Liminal Space です！夏の風物詩であ
る向日葵が1本だけ1月に咲いている。究極のミスマッチです。

登
録
番
号

026

意思あり風船

■発見年月日

2021年03月20日(水)

■発見場所

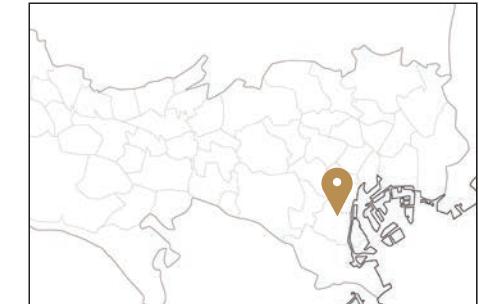
山手線大崎駅付近

■発見時刻

21時51分

■発見者

松松



■発見者生年月日

2003年08月13日

■発見者所感

『IT』っていうホラー映画に、赤い風船が出てくるんだけど、あのピエロが来るって思って焦った。

■監修者所感

とても物語性があります。真っ赤な風船がどうしてここに?物語性は「ナラティブ」という言葉で表現されます。Liminal Space のナラティブについて、この後のコラムで触れてきます。



登 録 番 号	027	musaliminal-1
------------------	-----	---------------

■発見年月日

2025年05月14日(火)

■発見場所

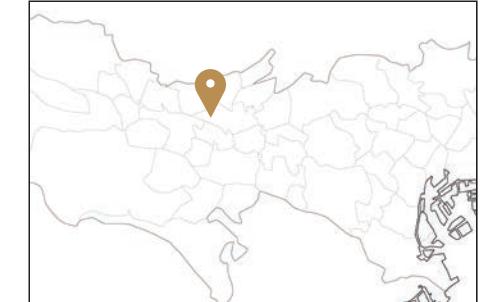
〒187-8505 東京都小平市小川町
1-736 武蔵野美術大学

■発見時刻

11時14分

■発見者

N嶋



■発見者生年月日

2003年07月05日

■発見者所感

Liminal Spaceについての授業をゼミ生向けにするために学内を探した中の1枚です。初めて意図的に撮影した Liminal Space でもあります。先生が「武蔵美にこんなところあるの?」と言っていたことが印象的でした。

■監修者所感

コンクリートの壁に空いた綺麗な丸に対して、手前の汚い壁と赤い「2」が対比しています。先生の感想から、やはり普段立ち止まらない場所は Liminal Space になりやすいと考えます。

登
録
番
号

028

musaliminal-2

■発見年月日

2025年05月14日(火)

■発見場所

〒187-8505 東京都小平市小川町
1-736 武蔵野美術大学

■発見時刻

11時27分

■発見者

N嶋



■発見者生年月日

2003年07月05日

■発見者所感

地下通路の先です。なんでこんなところに？誰のための椅子？

■監修者所感

「なんでここにあるの？」の極みです。椅子の角度も絶対に人が座らないような向きをしており、どうしてこうなったのか、過程が気になります。

登
録
番
号

029

今から皆さんには

■発見年月日

2025年06月28日(土)

■発見場所

神奈川県某ライブハウス

■発見時刻

13時03分

■発見者

N嶋

NO IMAGE

■発見者生年月日

2003年07月05日

■発見者所感

脱出ゲームの公演が始まる前に撮影した1枚です。床の模様もなかなかファンキーだけど、前を向いた譜面台と番号が振られた箱にデスゲームのような雰囲気を感じて怖くなりました。

■監修者所感

公演に参加した人でないと撮影できない貴重な Liminal Space です。脱出ゲームが好きな人からしたら、よく見る光景なのでしょうか？

登
録
番
号

030

空白

■発見年月日

2025年07月19日(土)

■発見場所

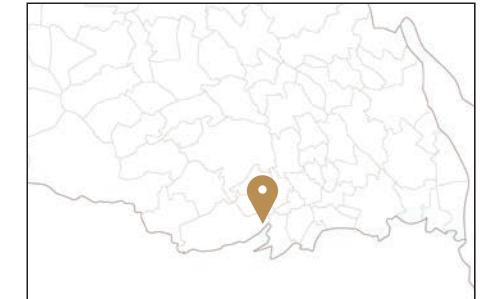
〒359-0021 埼玉県所沢市東所沢5-21
東所沢駅

■発見時刻

20時36分

■発見者

N嶋



■発見者生年月日

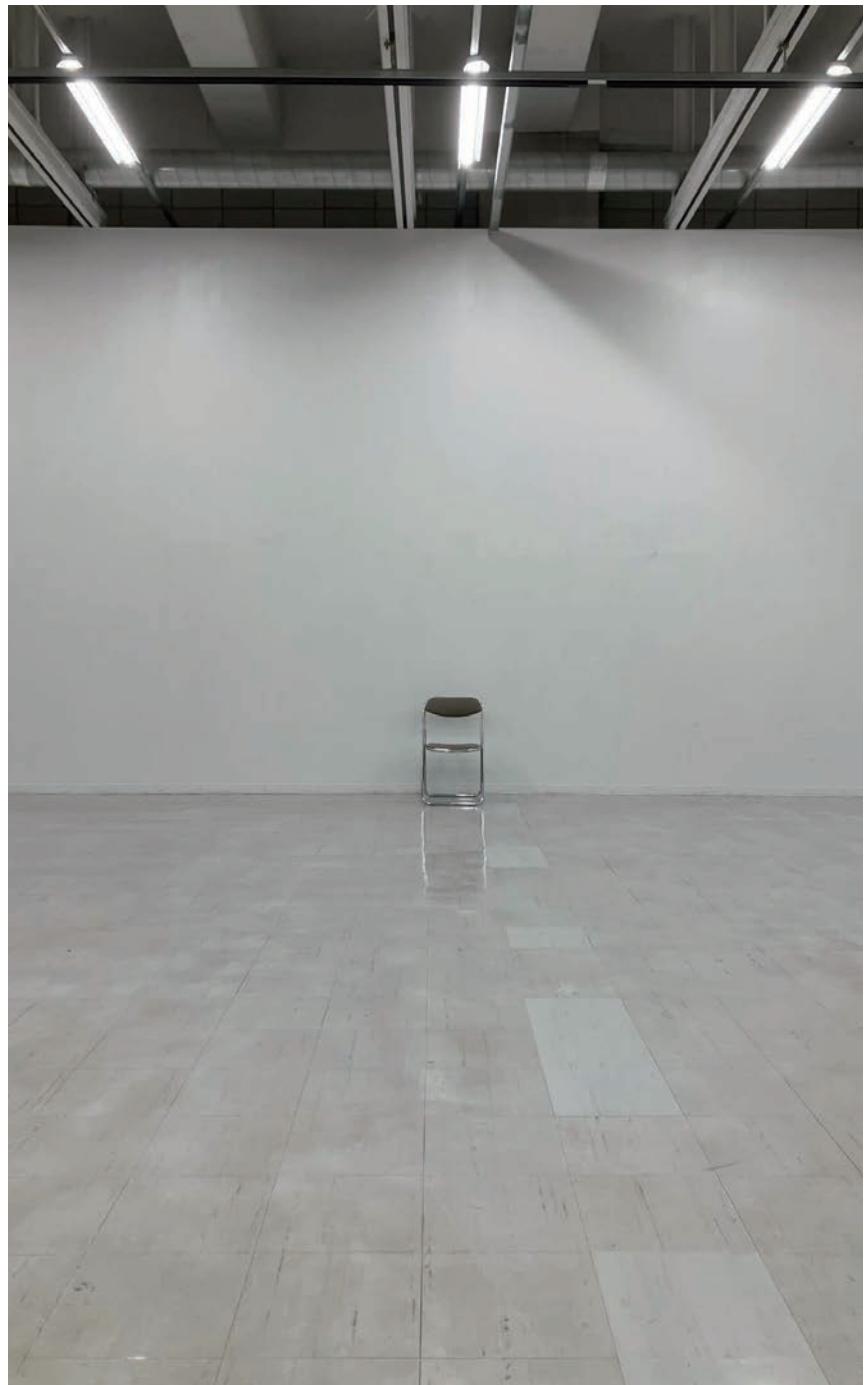
2003年07月05日

■発見者所感

ちょうどドアが開いた先に真っ白な看板があった。広告募集中の案内があるわけでもなく。私にはこの看板が何かへのきっかけ、入り口に思えて仕方がない。

■監修者所感

電車は何号車に乗るかによって停車時の景色にランダム性があることが面白いと思っています。白が持っている無限の可能性が想像の余白を与えています。

登
録
番
号

031

小倉さんの椅子

■発見年月日

2025年07月29日(火)

■発見時刻

15時10分

■発見者

N嶋

■発見者生年月日

2003年07月05日

■発見場所

東京都小平市小川町1-736
武蔵野美術大学 12号館 地下展示室

■発見者所感

小倉さんの座っていた椅子です。

■監修者所感

「部屋」「パイプ椅子」「小倉さん」の情報しかなく、情報の少な
さがかえって可能性を増やしています。Liminal Spaceに椅子は頻
出しますが、人の不在が際立つからであると考えています。

登
録
番
号

032

とある大学の 10 階

■発見年月日

2025 年 07 月 30 日 (水)

■発見場所

足立区

■発見時刻

23 時 16 分

■発見者

エカタタ



■発見者生年月日

2003 年 12 月 16 日

■発見者所感

とある大学の 10 階、研究を終えて帰ろうとしたとき、誰もいな
いはずの静かなフロアで何かと目が合った気がして、不気味だっ
た。

■監修者所感

写真右側の壁沿いにある何かについて、正体はあえて聞かないで
おきました。これを読んでいるあなたは何に見えますか？私が何
に見えたかも秘密にしておきます。

登
録
番
号

033

縄張り

■発見年月日

2025年07月31日(木)

■発見場所

東京都小平市小川町1-736
武蔵野美術大学 駐輪場

■発見時刻

18時02分

■発見者

N嶋



■発見者生年月日

2003年07月05日

■発見者所感

駐輪場に新しい仲間が加わっていました。近くに持ち主らしき人もおらず、次の日には無くなっていました。ここはいつもの駐輪場なのでしょうか。この椅子はなんのための椅子なのでしょうか。これを転がして大学まで来た人がいるということでしょうか。

■監修者所感

自転車に擬態して駐輪場にいるけれど、コーンバーに阻まれて戸惑っている様子にも見えます。これで学校に来た人がいる可能性があるということでしょうか。夢があります。

登
録
番
号

034

歯医者

■発見年月日

2025年08月01日(金)

■発見場所

〒270-0163
千葉県流山市南流山1-1-15

■発見時刻

18時44分

■発見者

N嶋



■発見者生年月日

2003年07月05日

■発見者所感

次の日に台風がくるからか、歯医者の看板がビルの内側にしまわ
れていた。それによってカーブのとんでもなく奥に歯医者の入り
口があるよう見えた。この先は本当に歯医者なのか。
どこに連れて行かれようとしているのか。

■監修者所感

発見者はこの空間が Liminal Space になりそうだと思っていたそ
うですが決め手にかけており、「台風の前日」という特殊条件が
備わって満を持して写真を撮ったそうです。

登
録
番
号

035

恐怖心

■発見年月日

2025年08月04日(月)

■発見場所

〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町
31-2 渋谷 BEAM 4F

■発見時刻

15時42分

■発見者

N 嶋



■発見者生年月日

2003年07月05日

■発見者所感

ゼミのみんなで「恐怖心展」という催し物に行きました。これが展示物だったわけではないのですが。閉められたシャッターと非常口との対比、浮かんでいる黒い丸が不気味に感じられました。

■監修者所感

写真の左側が薄赤いのは左側の展示で赤いライトを使っているからだそうです。展示物外でも恐怖を覚える空間は意図してキュレーションされているのでしょうか。

登
録
番
号

036

四叉路

■発見年月日

2025年08月04日(月)

■発見場所

東京都渋谷区道玄坂2-29-1
SHIBUYA109 7F

■発見時刻

16時28分

■発見者

N嶋



■発見者生年月日

2003年07月05日

■発見者所感

ドアが多すぎる、と思い撮影した1枚です。もし、誰かに追いか
けられていてこの行き止まりに迷い込んでしまった場合、どのド
アに逃げ込んだら助かるんだろう。私は何も書かれていない白い
ドアに入ります。あなたは？

■監修者所感

私は非常口のランプがついている扉に入ります。扉が4つあると
いうことはこの狭い空間の奥にそれぞれ別の4つの空間が広がっ
ているということになりますが、信じがたいです。

登
録
番
号

037

だるまさんがころんだ



■発見年月日

2025年08月11日(月)

■発見場所

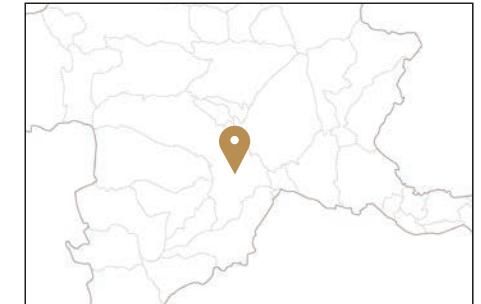
〒370-0849 群馬県高崎市八島町 222
ぐんまちゃん駅

■発見時刻

07時00分

■発見者

N嶋



■発見者生年月日

2003年07月05日

■発見者所感

期間限定で「ぐんまちゃん駅」という名前になっていた高崎駅です。人がいなくなるまで時間がかかりました。だるまの迫力に圧倒されます。夜中もこの空間があると思うと恐ろしいです。

■監修者所感

「群馬県がだるまの名産地だから」という知識があれば理論的に納得できるのですが、知識がなかったり、上の「ぐんまちゃん駅」のバナーがないとかなり恐怖を感じる空間です。

登
録
番
号

038

夜のひまわり畠

■発見年月日

2025年08月11日(月)

■発見場所

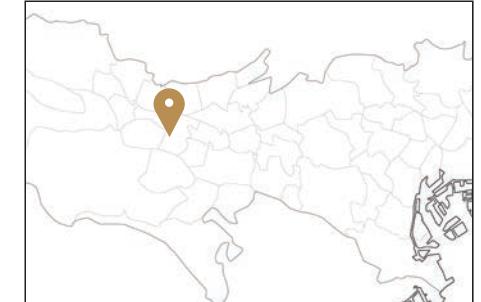
〒190-0014 東京都立川市緑町3173
昭和記念公園

■発見時刻

19時27分

■発見者

ちひろ



■発見者生年月日

2003年08月21日

■発見者所感

普段は太陽を向いている向日葵が全て下に頃垂れていて、夜の暗さとも相まって不気味だった。

■監修者所感

登録番号 025 の Liminal Space は「向日葵×冬」でしたが、こちらは「向日葵×夜」です。向日葵のイメージとは真逆で1本も上を向いておらず不気味ですが、黄色が鮮やかで美しいです。



登
録
番
号

039

(無題)

■発見年月日

2025年08月14日(木)

■発見場所

〒289-1608 千葉県山武郡芝山町岩山
111-3 空港科学博物館

■発見時刻

12時37分

■発見者

N嶋



■発見者生年月日

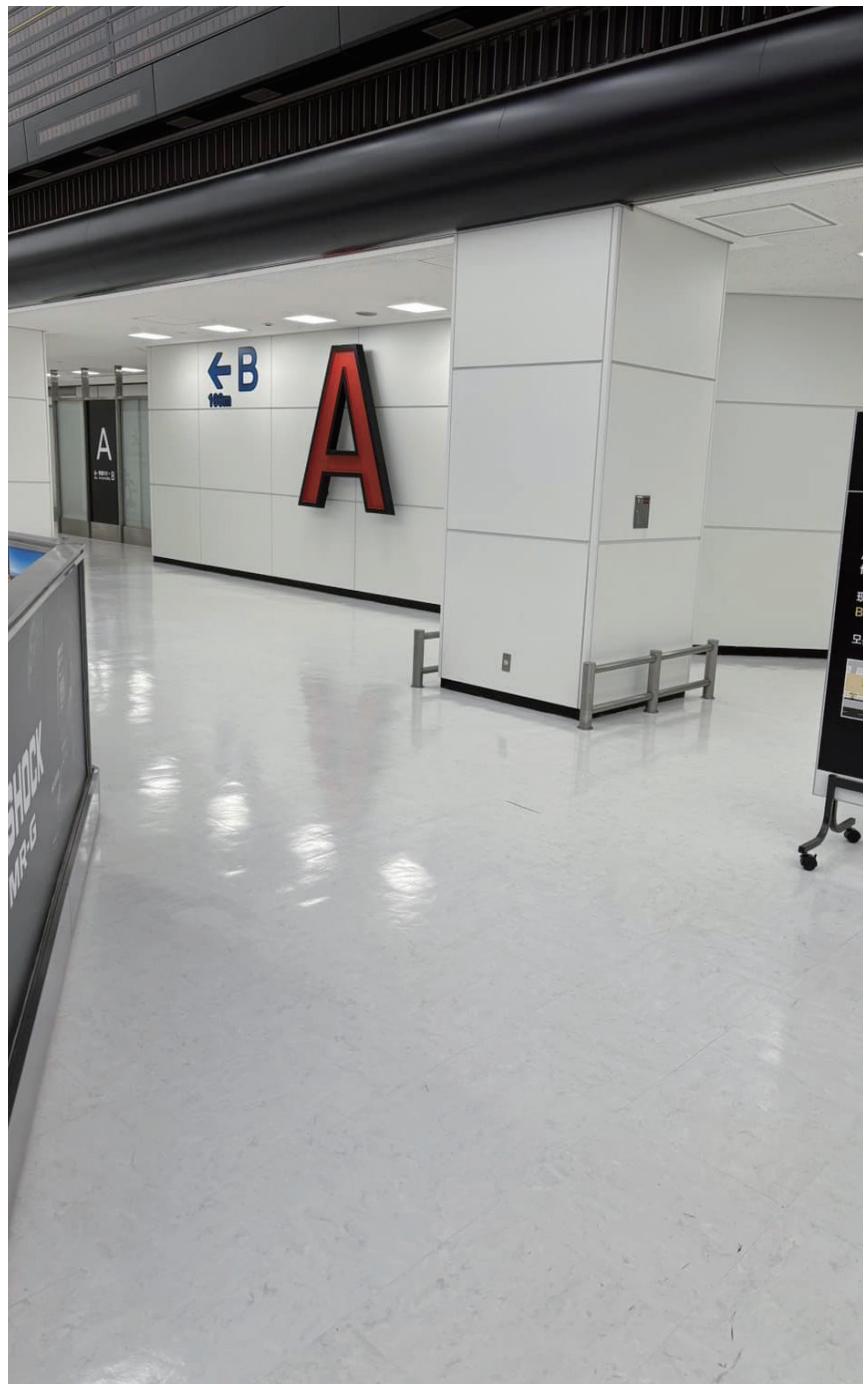
2003年07月05日

■発見者所感

ミュージアムの表の部分なのに、こんなにもバックヤードのような空間が広がっていて撮りました。「STAFF ONLY」の看板が役目を果たしていないように思えます。ただの置物のように見えます。フェンスとベンチがなかつたら違っている気がします。

■監修者所感

人の少ないバックヤードは普段入ることのできない非日常感からも Liminal Space になりやすいと考えます。普段見ることのできないバックヤードの作品は面白いです。

登
録
番
号

040

人気のない白

■発見年月日

2025年08月14日(木)

■発見場所

成田空港第2ターミナル

■発見時刻

23時56分

■発見者

桐生千輝



■発見者生年月日

2003年06月13日

■発見者所感

このままここにいたら気が狂うような白さを感じた。

■監修者所感

登録番号 027 の Liminal Space には赤い「2」がありましたがこちらは赤い「A」です。シンプルな空間だと数字や記号の意味が際立って主張されているように感じます。



登 録 番 号	041	行き止まり
------------------	-----	-------

■発見年月日

2025年08月20日(水)

■発見場所

とある銭湯

■発見時刻

21時00分

■発見者

(不明)

NO IMAGE

■発見者生年月日

2006年07月08日

■発見者所感

風呂上がりに探索していたら見つけた。休憩所を過ぎて食堂を抜け、廊下を曲がった先にあった。隔離された場所にあり、だれもこの場所を知らないのか全く人気がなかった。ぽつんと置かれた真ん中のゲーム機がやたらキラキラして綺麗で不思議な空間だなと思った。

■監修者所感

明暗のコントラストが美しく、ノスタルジックな雰囲気を感じる Liminal Space です。所感が詳しく書かれておりイメージが湧きました。ガチャガチャの「故障中」から物語性を感じます。

登
録
番
号

042

引き返せ

■発見年月日

2025年08月24日(日)

■発見場所

〒270-1456 千葉県柏市泉 1240-1
青少年自然の家

■発見時刻

12時06分

■発見者

N嶋



■発見者生年月日

2003年07月05日

■発見者所感

EXITの下の矢印がUターンしていたときの絶望感を感じ、嫌な奇妙さを感じました。今まで進んできた道が反対だったことが一発でわかります。

■監修者所感

どうやってここまできたのか、どうして出口は反対側にあるのか、この奥には何がいるのか、1枚の看板で想像が広がる Liminal Space です。



登
録
番
号

043

神隠し

■発見年月日

2025年08月29日(金)

■発見場所

〒856-0834 長崎県大村市玖島
玖島稻荷神社

■発見時刻

14時53分

■発見者

桐生千輝



■発見者生年月日

2003年06月13日

■発見者所感

鳥居がどこまでも続いて吸い込まれそうだった

■監修者所感

複数の同じものが並んでいる Liminal Space は多々あります。

全ての鳥居がそうかは不明ですが、千本鳥居のような数の多い鳥居は願いが叶った際に奉納することで増えていくそうです。

登
録
番
号

044

(無題)

■発見年月日

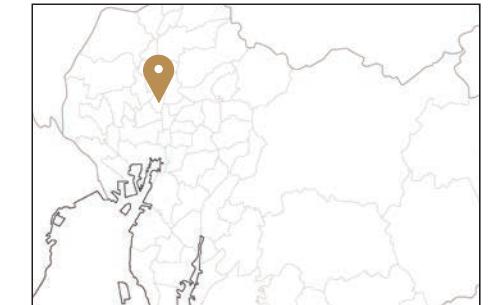
2025年08月29日(金)

■発見場所

〒451-0031 愛知県名古屋市西区城西
4-3208 净心駅

■発見時刻

22時00分頃



■発見者

森川る

■発見者生年月日

2000年05月10日

■発見者所感

人気のないもう使われない踏切の静けさが昼間とのギャップです
ごく無機質な場所に見えた。

■監修者所感

「踏切」と書いてありつつも線路がない矛盾が奇妙です。踏切と
いう言葉はそれだけで音や風を連想させる効果があると感じてい
ます。どこからともなく音だけが響いているような空間です。

登
録
番
号

045

(無題)

■発見年月日

2021年09月08日(月)

■発見場所

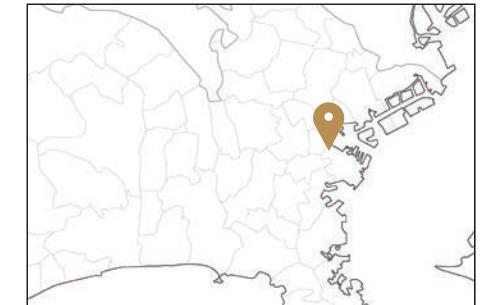
神奈川県横浜市中区太田町6-78 ホテルリソル横浜桜木町

■発見時刻

13時35分

■発見者

ないとー



■発見者生年月日

2003年11月14日

■発見者所感

薄暗い廊下の奥にペンギンがいる違和感を感じ、撮りました。

■監修者所感

「なぜペンギンが？」の一言に尽きます。このカテゴリーにぴったりの Liminal Space です。倒さないと先に進めない、RPG のバトル前のような高揚感も感じました。

登
録
番
号

046

かがみの孤城

■発見年月日

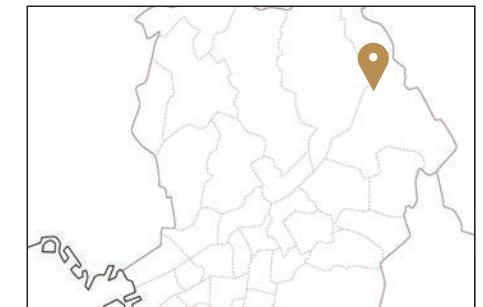
2025年09月22日(月)

■発見場所

〒573-0054 大阪府枚方市枚方公園町
1-1 ひらかたパーク

■発見時刻

15時24分



■発見者

N嶋

■発見者生年月日

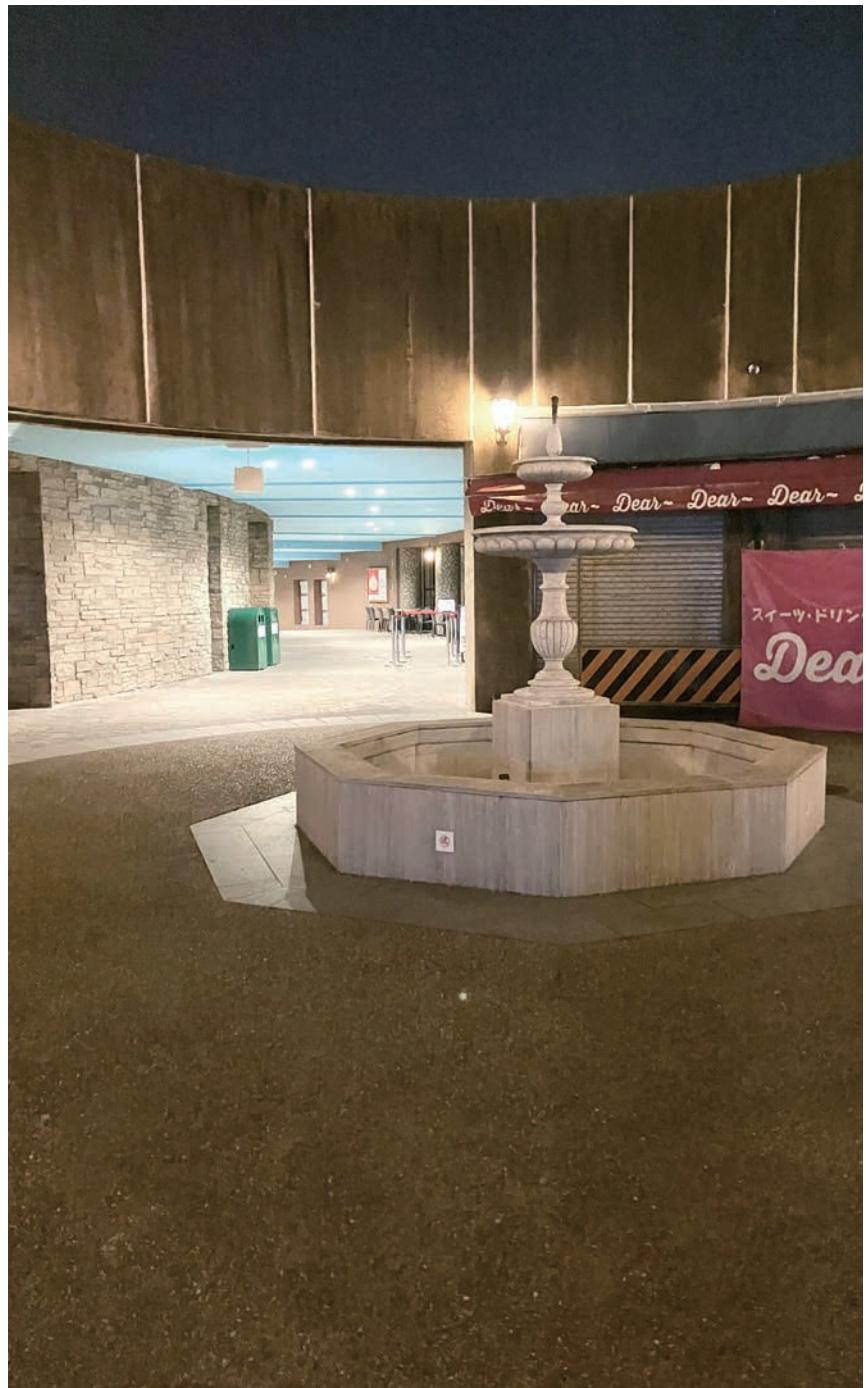
2003年07月05日

■発見者所感

小説『かがみの孤城』を思い出しました。本を読んだり映画を見た人には伝わるのではないでしょうか。きっとそれぞれ別の世界と繋がっています。それにしてもここは何のための空間なのでしょうか。

■監修者所感

ドアが集まって半円を描いているという点で登録番号036のLiminal Spaceに似ています。渋谷から大阪に繋がっている……？
フォトスポットでしょうか。

登
録
番
号

047

噴水のアレテー

■発見年月日

2025年09月22日(月)

■発見場所

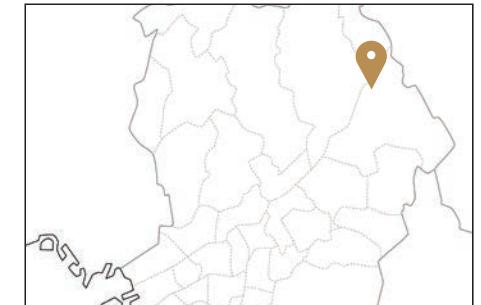
〒573-0054 大阪府枚方市枚方公園町
1-1 ひらかたパーク

■発見時刻

21時07分

■発見者

N嶋



■発見者生年月日

2003年07月05日

■発見者所感

アレテーとは古代ギリシャの哲学の言葉で「徳」であり、ナイフのアレテーは「よく切れること」、馬のアレテーは「早く走ること」と漫画で読みました。噴水のアレテーは「綺麗な水を湧き出すこと」だと思います。どうか叶えてほしい。

■監修者所感

開園当初は水が湧き出ていたのでしょうか。噴水の役目を果たすことのできない無用の噴水に寂しさを感じます。せっかく屋根がないので雨の日に撮影したものも見てみたいと思いました。

Liminal Space の持つ物語性

「なんでこんなものがここにあるの？」といった意外性のある Liminal Space はその背景を想像して物語を作りたくなりました。登録番号 026 などの Liminal Space で触れた通り、自分で紡ぐ物語を「ナラティブ (narrative)」と表現することがあります。

「ナラティブ」とは単なる事実の羅列ではなく、語り手自身の経験や解釈、感情が反映された物語を指します。「物語」を意味するのであれば「ストーリー」ではないか？と思うかもしれませんが、明確に違いがあります。

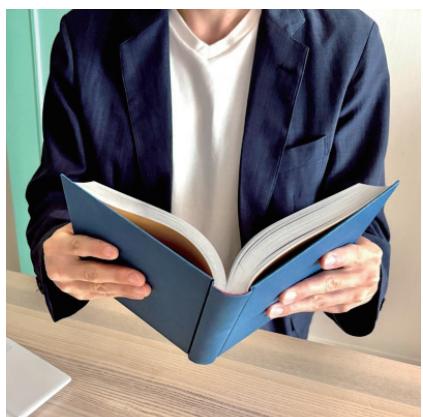
ストーリー (story)

物語の内容や筋書きのことを指す。主人公はじめ登場人物を中心に起承転結が展開されるため、そこに聞き手や語り手は作用せず、読み手だけがいる。

ナラティブ (narrative)

語り手自身が物語を紡ぐ。ビジネス分野、観光分野、ゲーム分野など幅広い分野で没入感や主体性を高めるために注目される手法。

『『ナラティブ』とは語り手自身が紡ぐ物語 ストーリーとは意味の異なる新たな概念』『ELEMINIST』2023年
<https://eleminist.com/article/788>



Liminal Space はどこかの一瞬を切り取った画像であるため、時間の流れがあまり感じられません。それに伴い「どのような過程でこの写真が撮られたのか」という情報がないため、鑑賞者自身が想像力を膨らませて物語を紡ぎたくなります。

しかし、どんな物語も正解はなく、結局は何もわからないという余白が、Liminal Space の面白さでもあります。

Chapter 02

Liminal Space 調査書

とある構図

このカテゴリーは、「とある構図」をしている作品を集めました。
どんな構図かあなたはわかりますか？

登
録
番
号

048

武蔵美のある渡し廊下

■発見年月日

2023年04月22日(土)

■発見場所

東京都小平市小川町1-736
武蔵美内7号館9号館連絡通路

■発見時刻

10時29分

■発見者

M.H.



■発見者生年月日

2004年08月19日

■発見者所感

写真の授業中に柱の配置やガラス戸越しに見える奥まで続く空
間、なぜか開いてるドアなどを見てここだけ切り取るといい感じ
なことに気がついた

■監修者所感

「いい感じ」であることに気がついて「写真を撮る」こと、非常
に重要だと思います。隣の建物まで障害物が何もないため、走っ
て行って飛び移れそうな勇気が湧いてしまいます。

登
録
番
号

049

闇の第三教室

■発見年月日

2024年01月15日(月)

■発見場所

〒399-4117
長野県駒ヶ根市赤穂16398

■発見時刻

12時50分

■発見者

N嶋



■発見者生年月日

2003年07月05日

■発見者所感

自動車教習所も liminal な場所なのかもしれない。講師として働かぬ限り、免許を取るための通過点に過ぎない。そんな特別な場所の 2 階突き当たりには闇の部屋があった。結局あの第三教室が使われているところは一度も見ずに卒業することとなる。

■監修者所感

自動車学校は、学校ですが幅広い年代の人間が一定期間のみ集まる特殊な場所であり、確かに liminal な性質を持っています。行かずに人生を終える人もいます。不思議な場所です。

登
録
番
号

050

馬喰町駅ホーム

■発見年月日

2024年03月25日(月)

■発見場所

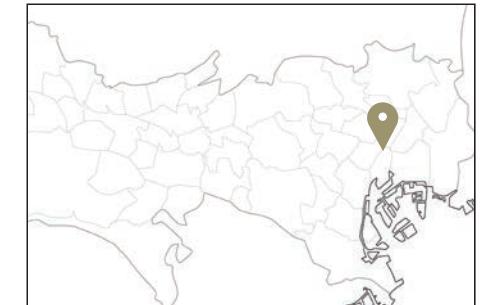
〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-7-3 馬喰町駅

■発見時刻

12時24分

■発見者

(不明)



■発見者生年月日

(不明)

■発見者所感

電車待ちをしている時ふとホームに目をやると壁が古く汚れているからかどんより暗い雰囲気が漂っていてとても恐ろしく感じた。乗り換えまでのルートにある昭和感のある標識や道中の人気の無さが8番出口の異変のような雰囲気がある。

■監修者所感

「8番出口」によって、日常の中に異変を見出す視点が生まれています。発見者の述べる「昭和感」のような古さやレトロな雰囲気も Liminal Space に散見されるポイントです。

登
録
番
号

051

musaliminal-3

■発見年月日

2025年05月14日(火)

■発見場所

〒187-8505 東京都小平市小川町
1-736 武蔵野美術大学

■発見時刻

11時16分

■発見者

N 嶋



■発見者生年月日

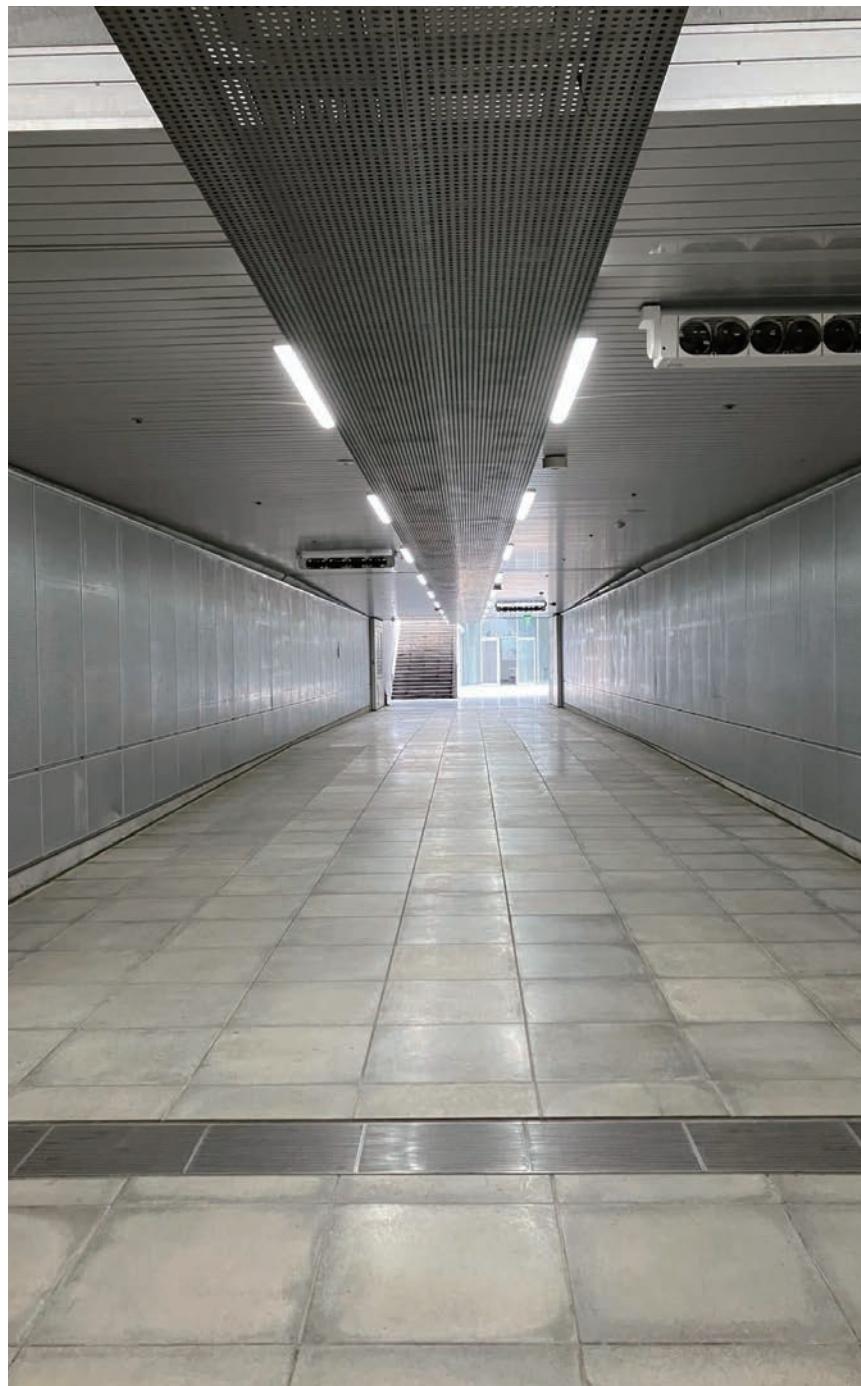
2003年07月05日

■発見者所感

武蔵美にこんなところあったんだと思いました。手前のパイプ椅子
子が黄昏ていてなんかいいなと思いました。誰のためでものない
椅子、椅子に意思があるみたいで気味が悪いです。

■監修者所感

長い廊下の奥に吸い込まれるような感覚がします。登録番号 028
の Liminal Space にも構図が似ています。武蔵野美術大学の椅子は
壁にもたれて黄昏る傾向にあるのでしょうか。

登
録
番
号

052

musaliminal-4

■発見年月日

2025年05月14日(火)

■発見場所

〒187-8505 東京都小平市小川町
1-736 武蔵野美術大学

■発見時刻

11時26分

■発見者

N嶋



■発見者生年月日

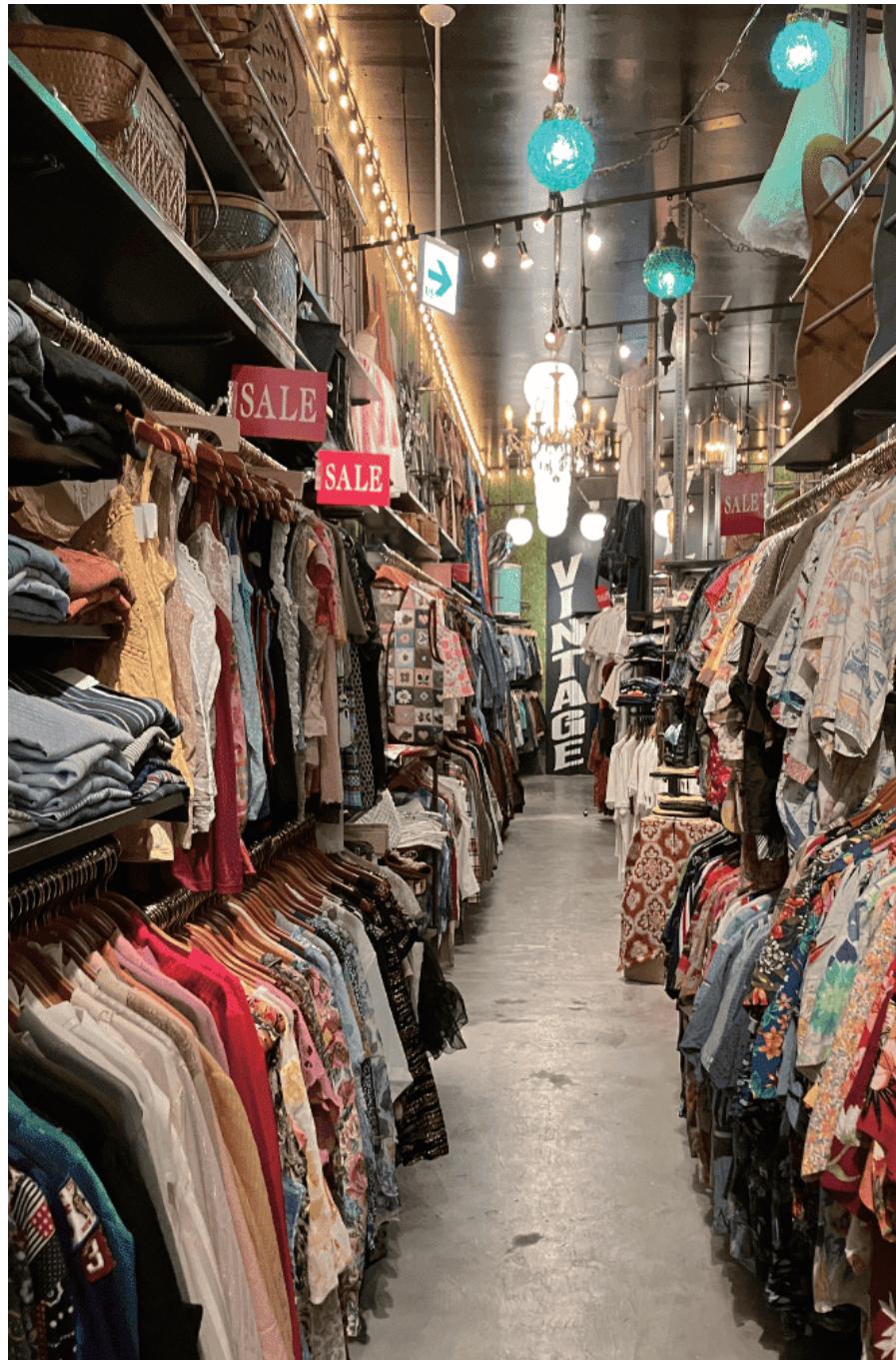
2003年07月05日

■発見者所感

地下通路です。道路の向こう側の建物に用事がないので4年間
通っていても全く通りません。先生はこの空間に「何かを感じ」
ているそうです。私には靈感が全くないので Liminal Space にそ
の類の恐怖があるかはわかりませんが、どうなんでしょうか。

■監修者所感

Liminal Space は「知覚できる」と「知覚できない」の間なので何
かが見えてしまったらもう liminal では無いと考えています。
それはもう心霊スポットです。

登
録
番
号

053

誘い

■発見年月日

2025年07月03日(木)

■発見場所

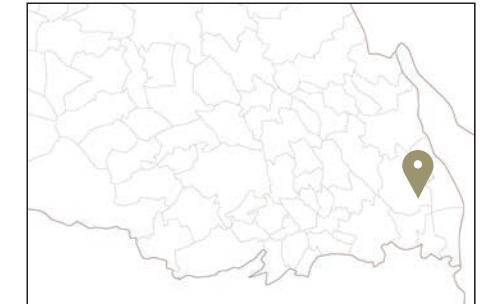
イオンレイクタウン
mori2階 Grapefruit moon

■発見時刻

11時49分

■発見者

N嶋



■発見者生年月日

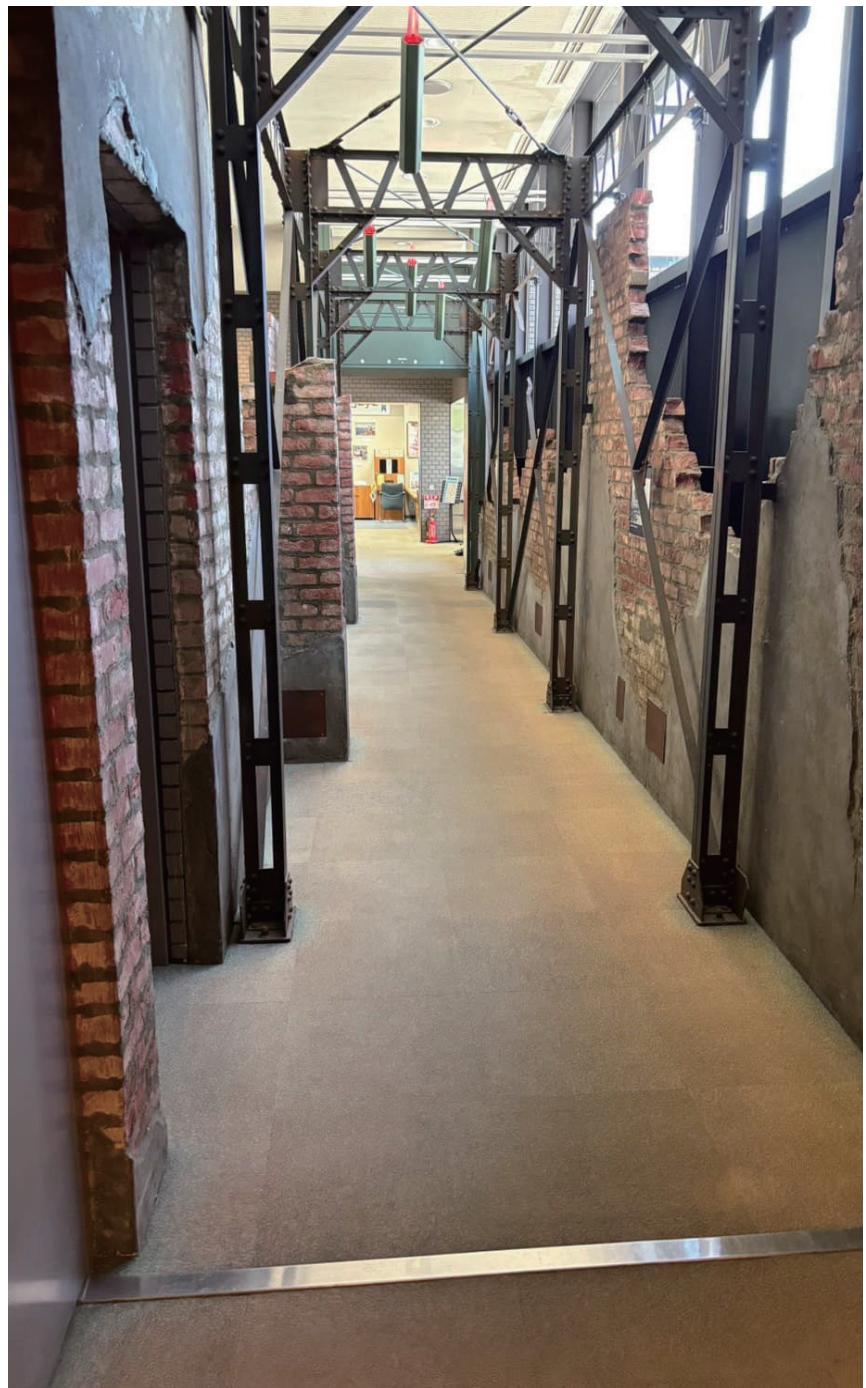
2003年07月05日

■発見者所感

私の大好きな古着屋さんです。非常口サインが大きな「VINTAGE」に誘っています。店の出入り口は反対方向にしかなく、おそらく従業員用通路に案内されるのでしょうか、「VINTAGE」そのものが、この店の非常口であるような1枚です。

■監修者所感

シンプルで冷たくて暗い場所が Liminal Space に向いているのではと思われがちですが、ポップな Liminal Space もある例になっています。

登
録
番
号

054

鉄骨煉瓦

■発見年月日

2025年07月26日(土)

■発見場所

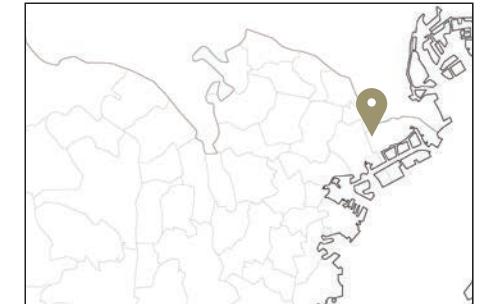
〒211-0021 神奈川県川崎市中原区木月住吉町33-1 平和館

■発見時刻

13時06分

■発見者

桐生千輝



■発見者生年月日

2003年06月13日

■発見者所感

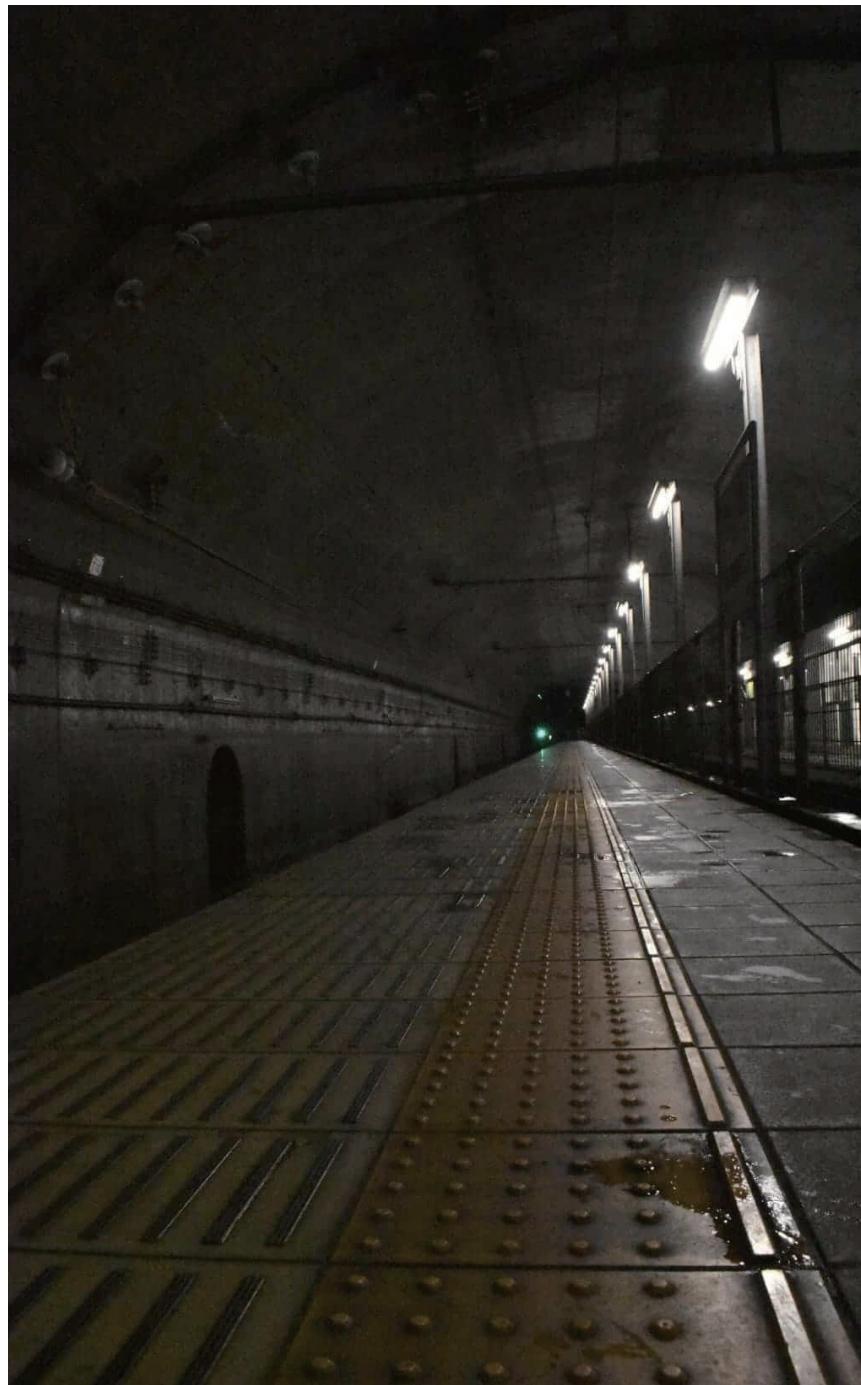
原爆の焼け野原から、突然公民館に飛ばされた感覚がした。

■監修者所感

奥の空間とのミスマッチ感が奇妙さを演出しています。登録番号

039のLiminal Spaceと同じように、バックヤードに迷い込んだよ

うな気持ちになるLiminal Spaceです。



登 録 番 号	055	土合駅 -1
------------------	-----	--------

■発見年月日

2025年08月11日(月)

■発見場所

〒379-1728 群馬県利根郡みなかみ町
湯桧曽 218-2

■発見時刻

08時42分

■発見者

N嶋



■発見者生年月日

2003年07月05日

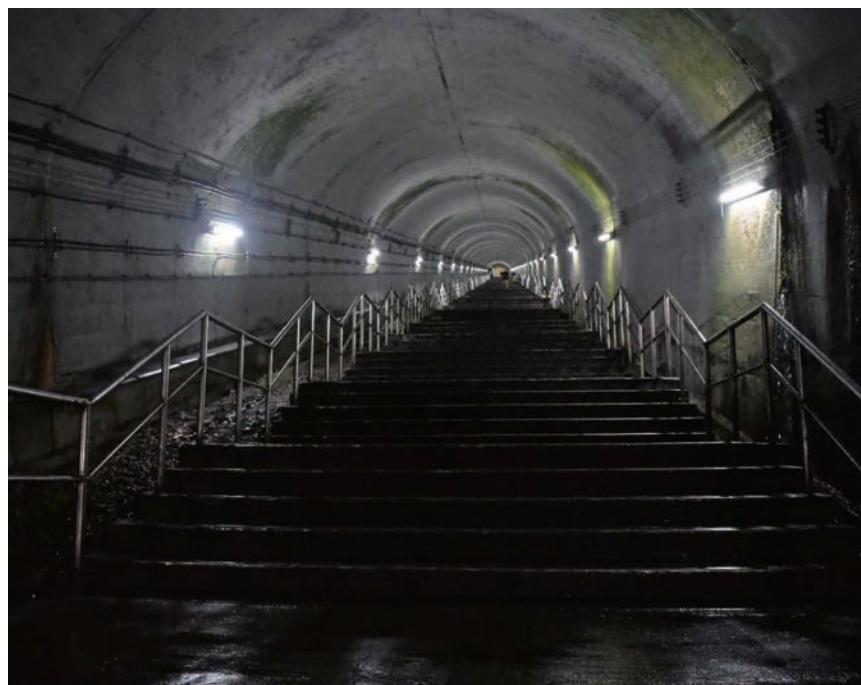
■発見者所感

電車を降りた瞬間から真夏なのに寒く、太陽の光の偉大を感じました。人はいたのでそこまで怖くなかったのですが、一人だったらと思うとぞっとします。

■監修者所感

右側のライト、地面の点字ブロック、左側の配線をメインに画面全体が奥の暗闇に吸い込まれています。そろそろこのカテゴリーの共通点に気がつきますか？

登 録 番 号	056	土合駅 -2
------------------	-----	--------



■発見年月日

2025年08月11日(月)

■発見場所

〒379-1728 群馬県
利根郡みなかみ町湯檜曽 218-2

■発見時刻

08時48分



■発見者

N嶋

■発見者生年月日

2003年07月05日

■発見者所感

改札口までは長い階段が462段もあります。もちろんエスカレーターもエレベーターもありません。反対側のホームには10分くらいかかりました。消失点が見えるほど階段です。終わらないんじゃないのかと思うほどでした。

■監修者所感

こちらの Liminal Space にもこのコラムの特徴が色濃く表れています。空間全体が一点に集約されており、もはや奥が点になっています。

登 録 番 号	057	土合駅 -3
------------------	-----	--------



■発見年月日

2025年08月11日(月)

■発見場所

〒379-1728 群馬県利根郡みなかみ町
湯桧曽 218-2

■発見時刻

08時54分

■発見者

N嶋



■発見者生年月日

2003年07月05日

■発見者所感

階段を登った先の景色です。行き止まりかと思って絶望しました。
が、真ん中の屏風みたいなものの裏に入り口があります。この衝立は必要なのでしょうか。絶望させるためだけにおいてない?と
思ってしまいます。

■監修者所感

地面の水シミ、天井の鋸びがホラーゲームのような質感をもたら
しています。建築的な鉄骨や窓のみならず、地面の水シミも画面
中央に集約されています。

登
録
番
号

058

土合駅 -4

■発見年月日

2025年08月11日(月)

■発見場所

〒379-1728 群馬県利根郡みなかみ町
湯檜曽 218-2

■発見時刻

08時57分

■発見者

N嶋



■発見者生年月日

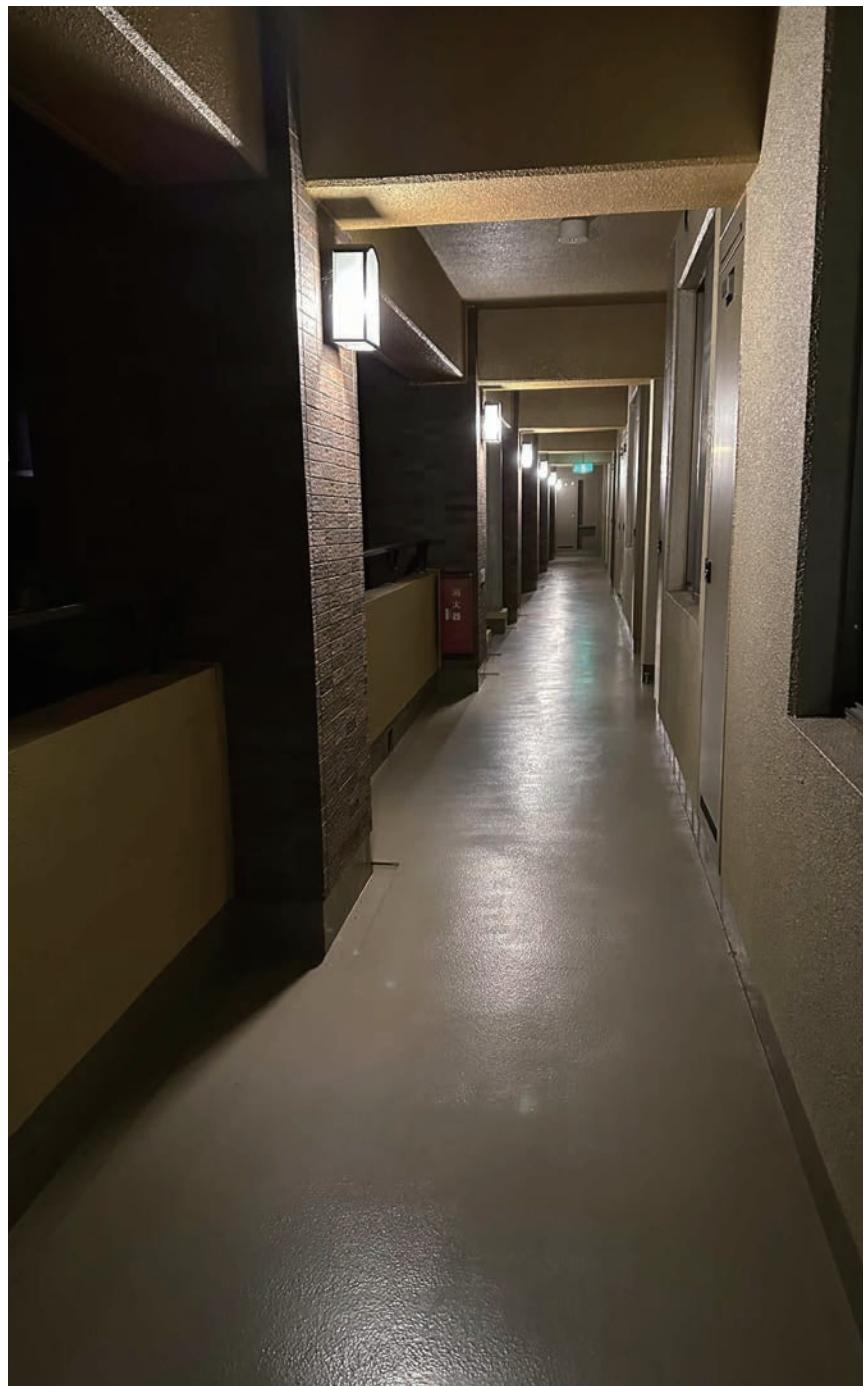
2003年07月05日

■発見者所感

行き止まりに見える空間を抜けると廃校の廊下のような場所に出ます。左が暗くて右が明るいので天使と悪魔みたいだと思いました。その奥にうっすら「出口」と書かれていて進むのが怖かったです。

■監修者所感

左右の明るさの対比が面白い Liminal Space になっています。レトロ感のある案内看板が登録番号 050 の Liminal Space のもつ雰囲気に似ており、昭和感を感じます。

登
録
番
号

059

(無題)

■発見年月日

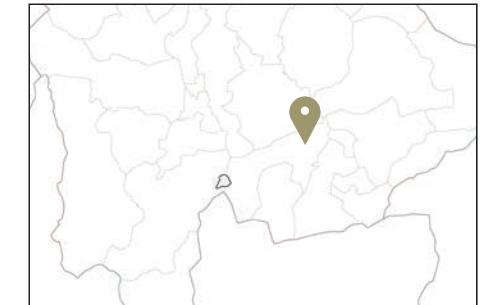
2025年08月11日(月)

■発見場所

〒401-0304 山梨県南都留郡富士河口湖町河口 1652 レイクウェイ

■発見時刻

21時30分頃



■発見者

なな

■発見者生年月日

2007年02月19日

■発見者所感

宿泊部屋に戻るときに、廊下を歩いていると少し薄暗いのと狭い
のが相まって、不気味に感じた。

■監修者所感

ホテルやマンションは同じ部屋が並んでいるという性質上、連続
性があり確かに不気味に感じます。消火栓の赤がワンポイントに
なっています。赤が差し色になっている作品は他にもあります。

登
録
番
号

060

消失点が見える

■発見年月日

2025年08月14日(木)

■発見場所

〒286-0104
千葉県成田市吉込 東成田駅

■発見時刻

14時45分

■発見者

N嶋



■発見者生年月日

2003年07月05日

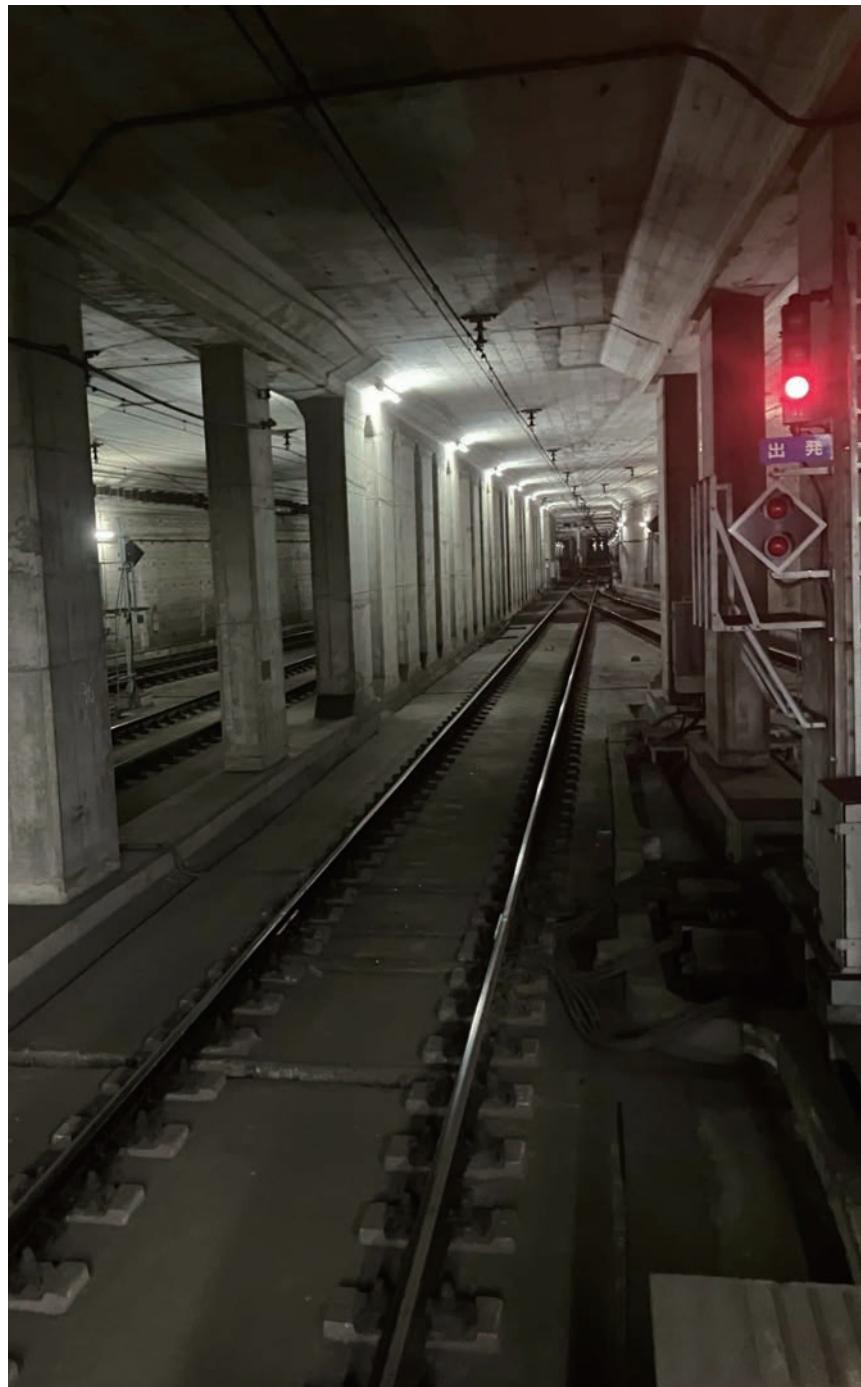
■発見者所感

昔は成田空港の最寄り駅として使われていましたが、空港直結の駅になったことで使われなくなり「東成田駅」と名前を変えた駅です。こんなに消失点が見える空間は初めてみました。どこまでも吸い込まれそうで怖いです。



■監修者所感

消失点とは「すべての平行線が集まる一点のこと」です。もう「ある構図」がどんな構図かわかったでしょうか。どうして Liminal Space にこの構図が散見されるのでしょうか。

登
録
番
号

061

I've Been Walking on the Railroad

■発見年月日

2025年08月14日(木)

■発見場所

〒286-0104
千葉県成田市吉込 東成田駅

■発見時刻

14時45分

■発見者

N嶋



■発見者生年月日

2003年07月05日

■発見者所感

I've been working on the railroad All the livelong day

I've been working on the railroad Just to pass the time away

Don't you hear the whistle blowing Rise up so early in the morn

Don't you hear the captain shouting Dinah, blow your horn

■監修者所感

英語と日本語で意味が全く違う歌です。元は黒人労働者によって

線路を敷く作業の際に歌われた歌でしたが、現在は子供向けの童

謡になって日本でも手遊びが遊ばれています。



登 録 番 号	062	⌘ + C, ⌘ + V
------------------	-----	--------------

■発見年月日

2025年08月14日(木)

■発見場所

〒286-0104
千葉県成田市吉込 東成田駅

■発見時刻

15時31分

■発見者

N嶋



■発見者生年月日

2003年07月05日

■発見者所感

ずっと行った先にずらーっとポールが並んでいました。コピー
アンドペーストしたみたいに同じものが列をなして並んでいるの
を見ると不気味に感じます。大きいカーソルが奥から出てきたら
急いで走って戻ります。そんなことすら起こりそうな雰囲気です。

■監修者所感

ポツンと一つ何かが置いてある Liminal Space (登録番号 031 の
ような) とは対照的にコピー&ペーストしたような大量発生型の
Liminal Space があります。どちらも別の不気味さを持っています。

登
録
番
号

063

到着？

■発見年月日

2025年08月15日(金)

■発見場所

成田空港第3ターミナル

■発見時刻

00時13分

■発見者

桐生千輝



■発見者生年月日

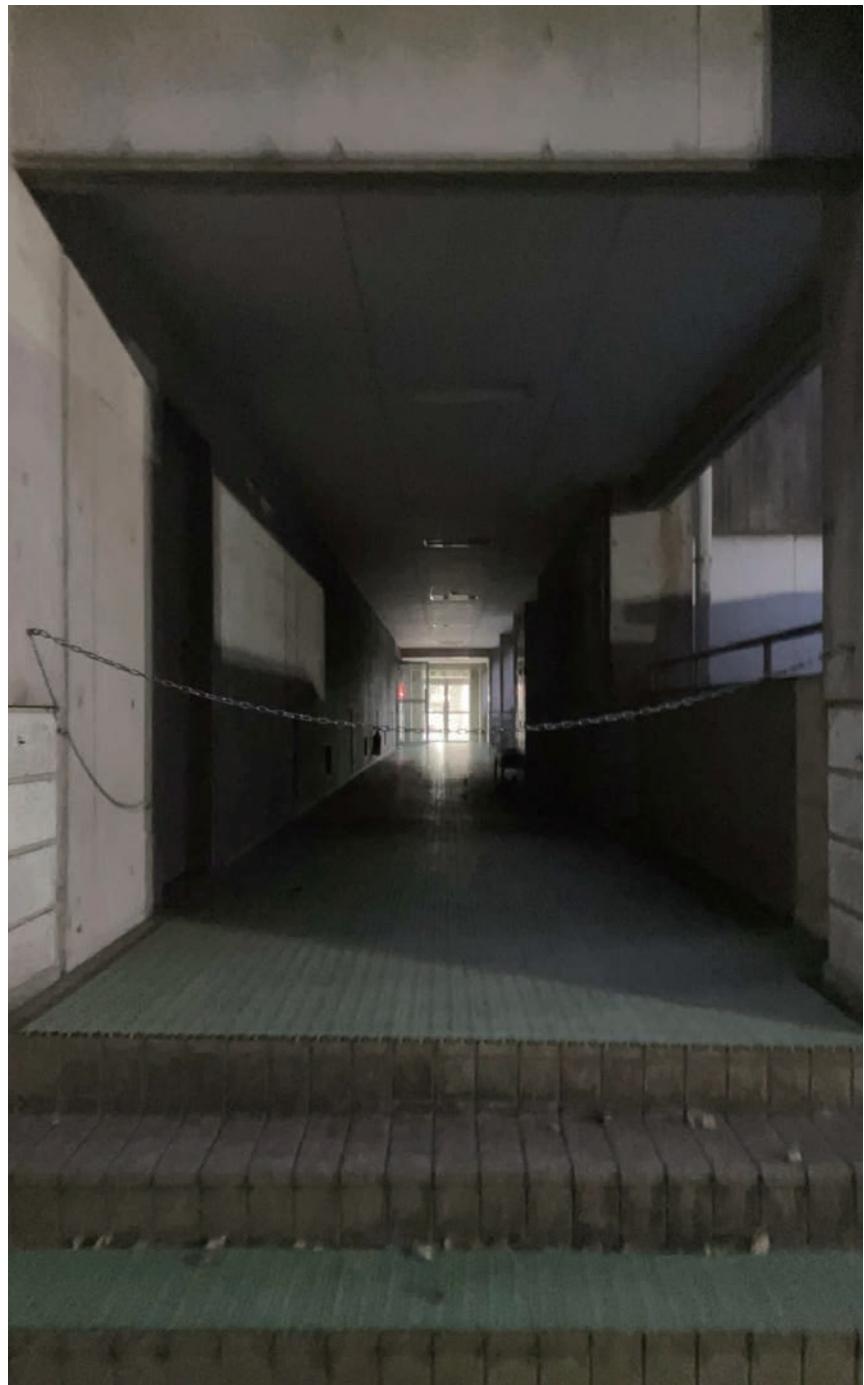
2003年06月13日

■発見者所感

この道をこのまま進んでいったら先には一体何があるんだろうと
いうワクワク感と知らない場所に辿り着く恐怖心が先にあった。

■監修者所感

床だけ見たら運動場なのにも関わらず空港であるという奇妙な
Liminal Space です。キャリーケースを引いて走りたくなります。
ゴールテープが欲しい！

登
録
番
号

064

背光

■発見年月日

2025年08月24日(日)

■発見場所

〒270-1456 千葉県柏市泉1240-1
青少年自然の家

■発見時刻

18時37分



■発見者

N嶋

■発見者生年月日

2003年07月05日

■発見者所感

あの光に届くまでに左に体育館、右にプラネタリウムへの入り口
があることが信じられません。何も見えません。合宿のナイト
ウォークのチェックポイント担当でここに一人置き去りにされた
時はもうおしまいだ、と思いました。

■監修者所感

登録番号030のLiminal Spaceで「白は無限の可能性」と述べま
したが、黒も無限の可能性があることに気がつきました。光も闇
も無限の可能性を秘めています。

登
録
番
号

065

イエローライン

■発見年月日

2025年08月27日(水)

■発見場所

長崎県佐世保市ハウステンボス町7-7
ホテルアムステルダム

■発見時刻

22時50分

■発見者

桐生千輝



■発見者生年月日

2003年06月13日

■発見者所感

モノトーンの壁と床に、黄色の線と照明の光が混じって、扉のようなものが目の前に広がっているように見えた

■監修者所感

「扉のようなものが目の前に広がっている」という所感が非常に興味深いです。この作品は「ある構図」が故に見えない四角形ができています。このあとのコラムで詳しく触れます。

登
録
番
号

066

(無題)

■発見年月日

2025年08月29日(金)

■発見場所

〒451-0031 愛知県名古屋市西区城西
4-3208 浄心駅

■発見時刻

22時00分頃



■発見者

森川る

■発見者生年月日

2000年05月10日

■発見者所感

普段使うならこの薄暗い出口ではなく、すぐ地上にでれるところ
がいいなと感じた。

■監修者所感

蛍光灯の光が壁にも及んでいて縞模様のようになっています。登
録番号067の作品で触れた「見えない四角形」が、このLiminal
Spaceはさらにわかりやすく見えるのではないでしょうか。

登
録
番
号

068

(無題)

■発見年月日

2025年09月13日(土)

■発見場所

〒100-0004 東京都千代田区大手町鉄
鋼ビルB1F

■発見時刻

16時51分

■発見者

鈴木雅子



■発見者生年月日

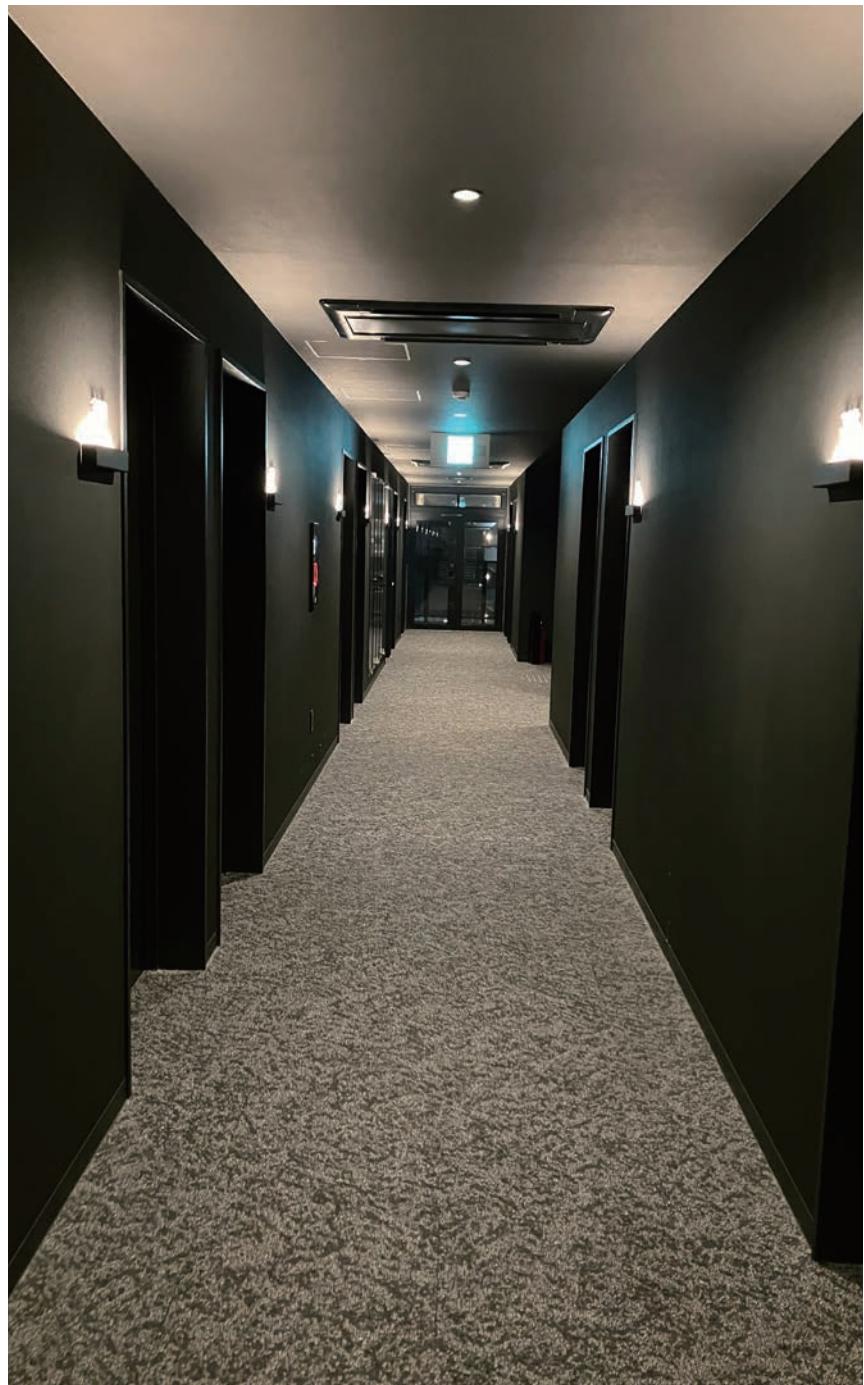
2002年12月10日

■発見者所感

エプロンを取りに行った後

■監修者所感

とにかく床の跡が気になります。扉から漏れ出ているようになっ
ていて様々なことが想起されます。また、水平に写真が撮られて
いないことから目眩が起こっているような1枚になっています。

登
録
番
号

069

隣人

■発見年月日

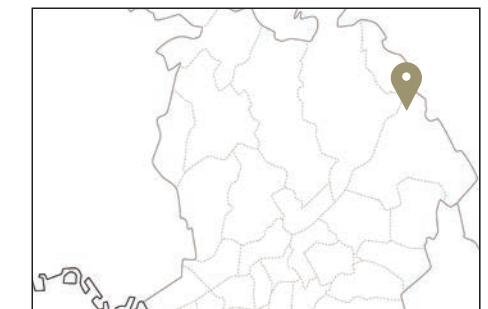
2025年09月19日(金)

■発見場所

〒573-1106 大阪府枚方市楠葉
1-5-5

■発見時刻

19時29分



■発見者

N嶋

■発見者生年月日

2003年07月05日

■発見者所感

床が浮いているような、CGのような写真が撮れました。こんな模様で黒目を交差させて3Dアートを見るやつがあったなと思い、そんな模様は床に使わない方が良いのではないかと思いました。

■監修者所感

「立体視」という、両目で捉えたものを脳で統合した時に奥行きを知覚する能力のズレを利用した遊びです。立体視を使わなくても奥行きを感じることができることが「ある構図」の特徴です。



登 録 番 号	070	まだ住んでますか？
------------------	-----	-----------

■発見年月日

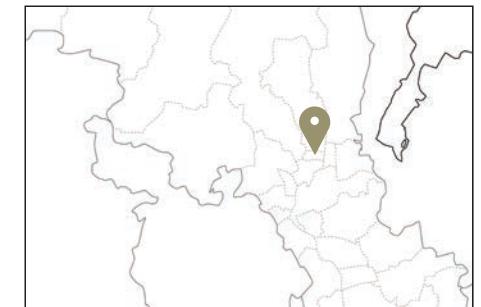
2025年11月03日(月)

■発見場所

〒600-8153 京都府京都市下京区廿人
講町36 重信会館

■発見時刻

17時31分



■発見者

すぎさち

■発見者生年月日

1966年05月08日

■発見者所感

ここに住んでいた人たちがひょっこり出てきそうな、今でも人が
住んでいる気配がする廊下でした。

■監修者所感

重信会館は京都の東本願寺と渉成園という庭園の間にある昭和初期の建築物です。古い建物ですが、確かにまだ建物が生きている
雰囲気を感じます。扉が全て開けっぱなしだからでしょうか。

「とある構図」の効果と実例

このカテゴリーの Liminal Space は奥行きがあって、吸い込まれる感じがしたのではないでしょうか。「とある構図」とは「線遠近法」のことでした。線遠近法とは平面上に立体空間を描

写する技法です。平行線が遠くへ行くほど一点に収束する様子を描くことで、奥行きを表現することができるという、科学的に体系化された空間表現法です。



武蔵野美術大学 造形ファイル 透視図法（線遠近法）<https://zokeifile.musabi.ac.jp/> 透視図法（線遠近法）/

Liminal Space 調査を通して、この線遠近法の構図が多く見られました。本書では 100 件中 32 件の線遠近法が見つかっています。このカテゴリー以外にも線遠近法が使われている Liminal Space が入っています。



《最後の晚餐》1495-1506 油彩とテンペラ 壁画 420 × 910cm
サンタマリアデッレグラツィエ修道院

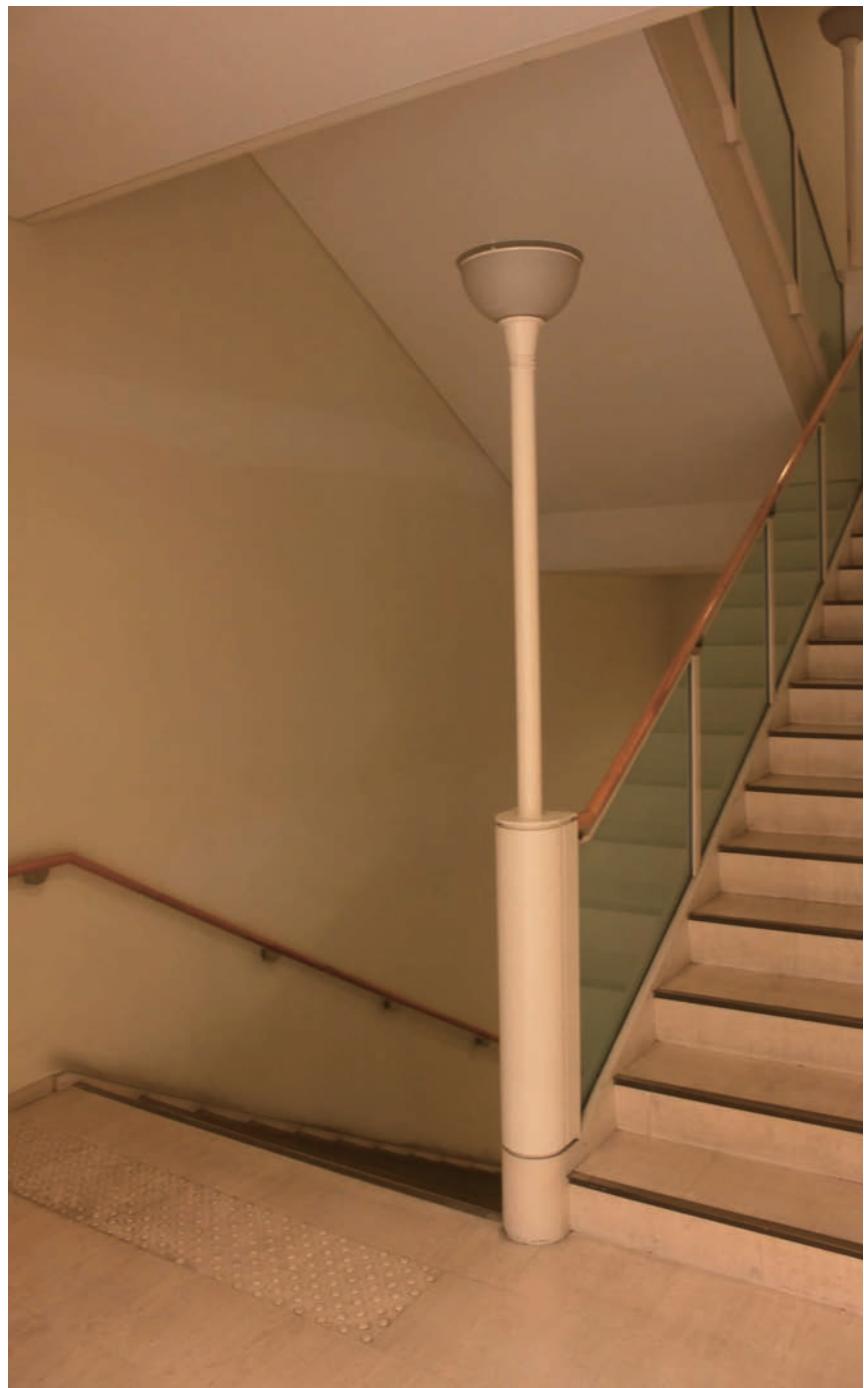
絵画にもこの技法は取り入れられており、有名なものではレオナルド・ダ・ヴィンチの《最後の晚餐》が挙げられます。全体的な奥行きが中央にいるイエス・キリストに集まるように描かれています。

Chapter 02

Liminal Space 調査書

狭間に立ち止まる

このカテゴリーでは普段立ち止まることのないであろう場所を集めました。
世界のどこかにある狭間の場所をご覧ください。

登
録
番
号

071

不安

■発見年月日

小学生の頃

■発見場所

東急ハンズ 新宿店

■発見時刻

(不明)

■発見者

中島惣貴



■発見者生年月日

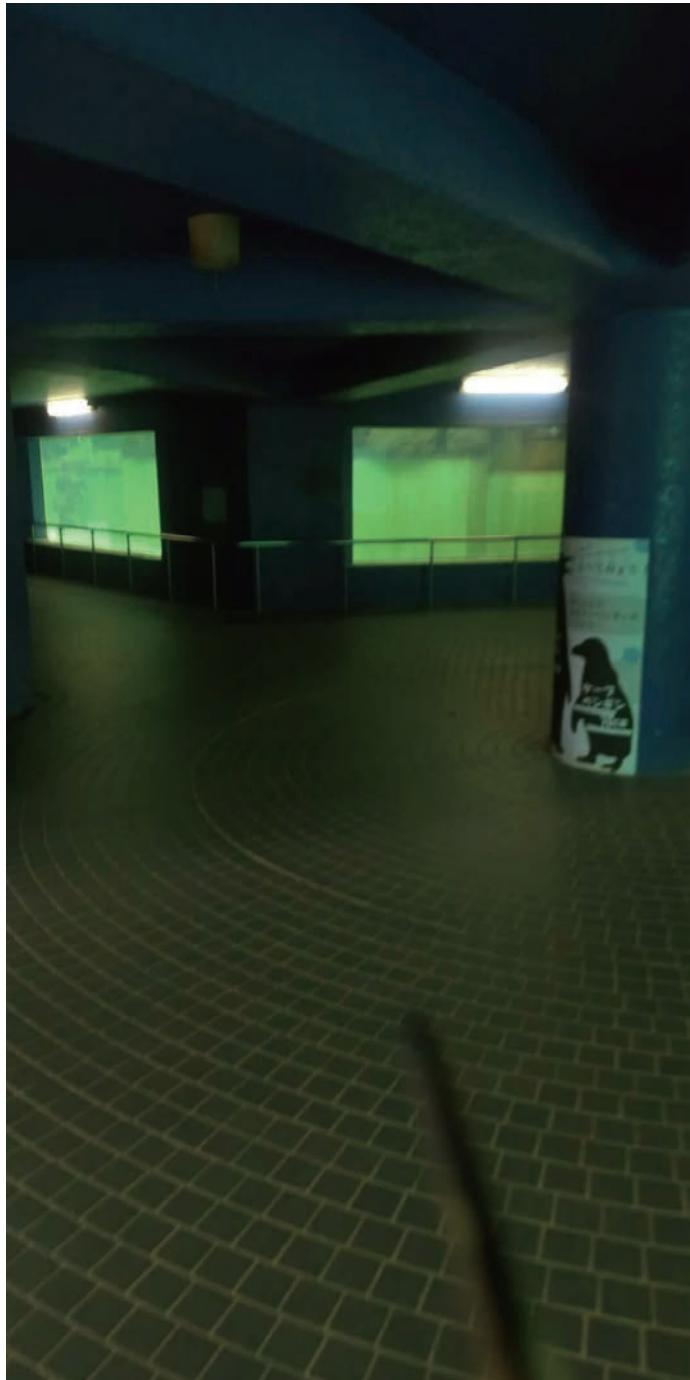
2004年08月06日

■発見者所感

エレベーターが嫌いだった

■監修者所感

この冊子の中で最も古い Liminal Space です。明るく、温かみもあるけれど寂しさがあります。東急ハンズは明るい白のイメージがあるため、そのギャップもあり妙な雰囲気を感じます。

登
録
番
号

072

(無題)

■発見年月日

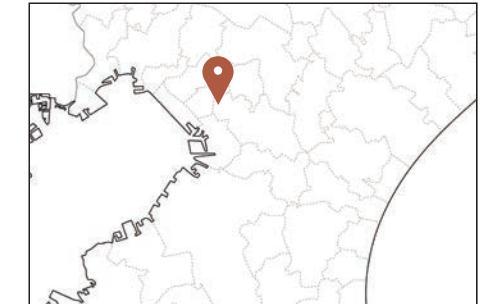
2024年09月30日(月)

■発見場所

〒264-0037 千葉県千葉市若葉区源町
280 千葉市動物公園

■発見時刻

10時48分



■発見者

(不明)

■発見者生年月日

2005年08月13日

■発見者所感

画塾の授業の一環として行った。もともと少し不気味なものがす
きで写真に撮った。外から人の声は聞こえるのにここには誰もい
なくて不気味だった。

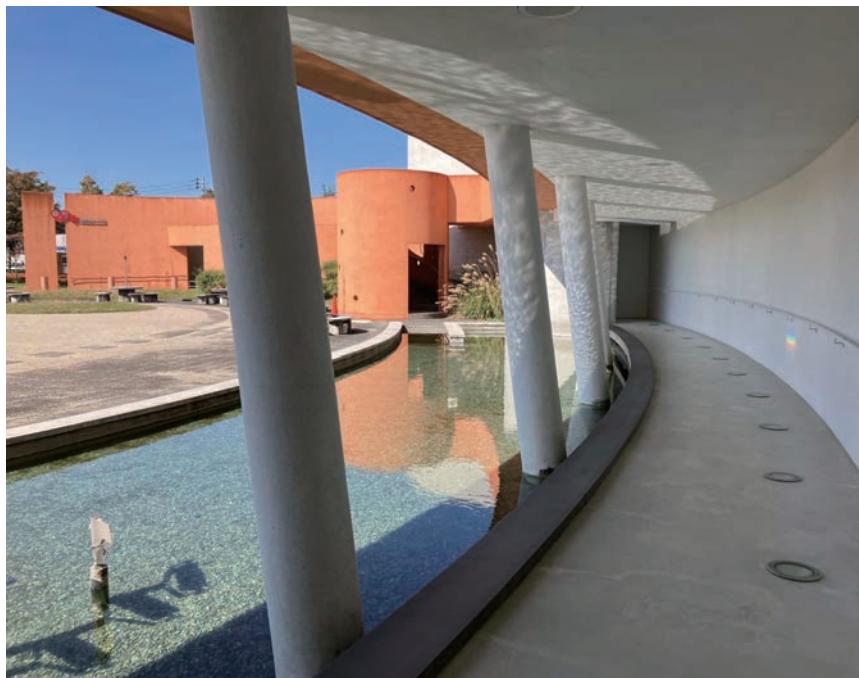
■監修者所感

動物園にこんな場所が、と驚きました。この冊子2匹目のペンギ
ンです。所感によると音も相まって不気味だったということで、
その瞬間しかわからない不気味さもあったのだと考えます。

登
録
番
号

073

curve



■発見年月日

2024年10月25日(金)

■発見時刻

11時05分

■発見者

N嶋

■発見者生年月日

2003年07月05日

■発見場所

〒989-6434 宮城県大崎市岩出山下川原町100 感覚ミュージアム



■発見者所感

反射した水が天井に映ってゆらゆらしていて浮世離れした空間
 だった記憶があります。等間隔に配置されたライトが『ヘンゼル
 とグレーテル』が落としていったパンみたいで面白いです。
 このミュージアムとてもおすすめです。

■監修者所感

登録番号001のLiminal Spaceに並んで水の要素があるLiminal
 Spaceです。ミュージアムの洗練されたシンプルなデザインとマッ
 チして非日常感が際立っています。

登
録
番
号

074

(無題)

■発見年月日

2024年11月22日(金)

■発見場所

千葉県千葉市美浜区打瀬

■発見時刻

00時53分

■発見者

やっくん



■発見者生年月日

2003年02月27日

■発見者所感

いつも自宅へ向かう道が、霧が濃く先が見えない不安、等幅にある電柱がその日はすごく不気味に見え、早足で帰りました。

■監修者所感

濃霧は不穏かつ神秘的な雰囲気があります。個人的には謎の高揚感もある天気です。深夜にも関わらず空が赤っぽい部分を奇妙に感じます。

登
録
番
号

075

鼻詰まりの産物

■発見年月日

2025年07月18日(金)

■発見場所

〒270-0163 千葉県流山市南流山4丁目1-15 南流山駅前ビル

■発見時刻

10時36分

■発見者

N嶋



■発見者生年月日

2003年07月05日

■発見者所感

どうして右側のドアだけ少し浮いているのか、なんのためにドアの前に段差があるのか、手前のハンカチは誰のものなのか。
寒暖差アレルギーによって機能を失った鼻に苦しまれ耳鼻科に行ったからこそ出会えた Liminal Space です。

■監修者所感

誰かがハンカチを忘れて、発見者の鼻が詰まらないと写真に残らなかった Liminal Space です。様々な出来事が重なって記録に残っていることが改めて感じられる 1枚です。

登
録
番
号

076

(無題)

■発見年月日

2025年07月19日(土)

■発見場所

台湾

■発見時刻

18時28分

■発見者

ハリー

NO IMAGE

■発見者生年月日

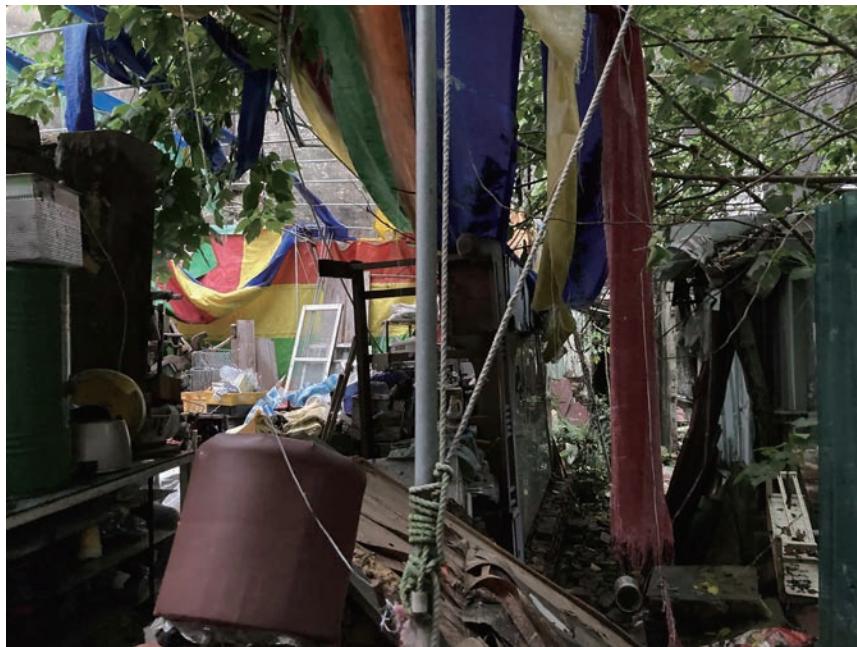
2001年09月08日

■発見者所感

台湾での空き家を見つけて、人がいないで放置されている様子が不気味に感じました。

■監修者所感

この冊子の中で唯一国外の Liminal Space です。奥の白い網戸に光がさしていてカラフルな布との対比がとれています。何をする空間なのか全くわからない奇妙さがあります。





登 録 番 号	077	エメラルドの都
------------------	-----	---------

■発見年月日

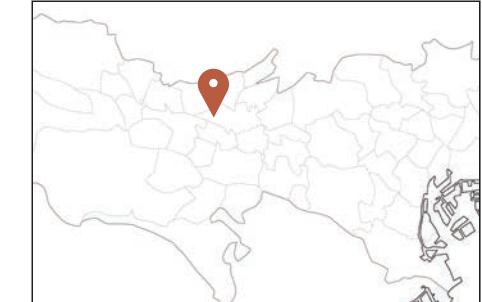
2025年07月31日(木)

■発見場所

〒187-8505 東京都小平市小川町
1-736 武蔵野美術大学

■発見時刻

18時00分



■発見者

N嶋

■発見者生年月日

2003年07月05日

■発見者所感

『オズの魔法使い』にエメラルドで作られたキラキラの緑の都があると本で読んだことがあります。ずっと行ってみたいなと思っていました。想像のようにキラキラはしていませんがまさにエメラルドの都みたいだと思いました。

■監修者所感

緑一色の空間はこのカテゴリーで3つ出てきます。エメラルドの都は各地に点在しているのかもしれません。ガーネットの都も、サファイアの都もトパーズの都もあるのでしょうか。

登
録
番
号

078

(無題)

■発見年月日

2025年08月07日(木)

■発見場所

〒295-0102
千葉県南房総市白浜町白浜 623-13

■発見時刻

16時40分

■発見者

木方唯花



■発見者生年月日

2003年05月31日

■発見者所感

ふる～いホテルに泊まって、自分たちのお部屋まで行く途中の廊下でみつけました！謎の空間すぎて Liminal Space の写真を集めていたこと思い出したので写真撮りました。

■監修者所感

突き当たりのライトと壁の凹みが、いかにもドアがありそうなのに埋め立てられているところが不気味です。非常灯がついていますが本当に出られるのか……？と疑ってしまいます。

登
録
番
号

079

子どもにちゅうい

■発見年月日

2025年08月08日(金)

■発見場所

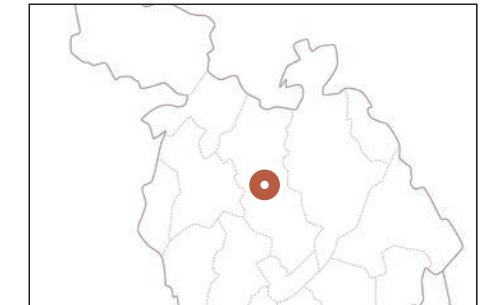
大阪府茨木市の住宅街

■発見時刻

04時46分

■発見者

びびび



■発見者生年月日

2003年11月20日

■発見者所感

友人宅からの帰り道。早朝の静けさと、まだ陽の出でない暗さ
がミックスされ、なんとも言えない不気味さを感じた。

■監修者所感

空間かと問われれば系の Liminal Space ですが、私の生活圏では
見ない道路表示でぞっとしました。坂の傾斜と道の形が相まって
世界全体がうねって見えます。

登
録
番
号

080

私しか知らない

■発見年月日

2025年08月11日(月)

■発見場所

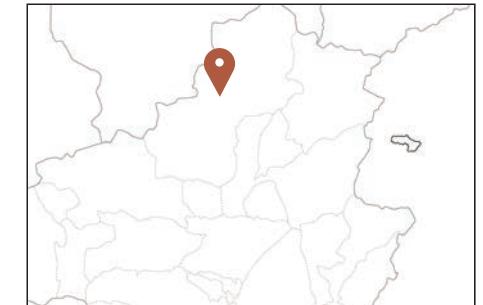
〒379-1728 群馬県利根郡みなかみ町
湯檜曽 218-2

■発見時刻

09時16分

■発見者

N嶋



■発見者生年月日

2003年07月05日

■発見者所感

駅前にあるバス停の中です。いつからこの状況なんだろう。

Liminal Spaceを探しに行こうと思って土合駅に行かなければ入っていない場所です。私が行かなければ何の記録にも残らなかったであろう場所です。

■監修者所感

バス停にキャスター付きの椅子があることが珍しく、過程が気になりました。この椅子もバスを待っているのでしょうか。



登
録
番
号

081

誰も座れない

■発見年月日

2025年08月14日(木)

■発見場所

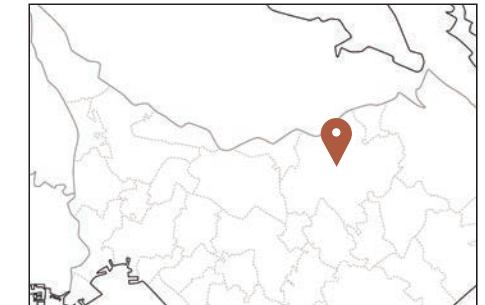
〒286-0104 千葉県成田市古込
東成田駅

■発見時刻

14時57分

■発見者

N嶋

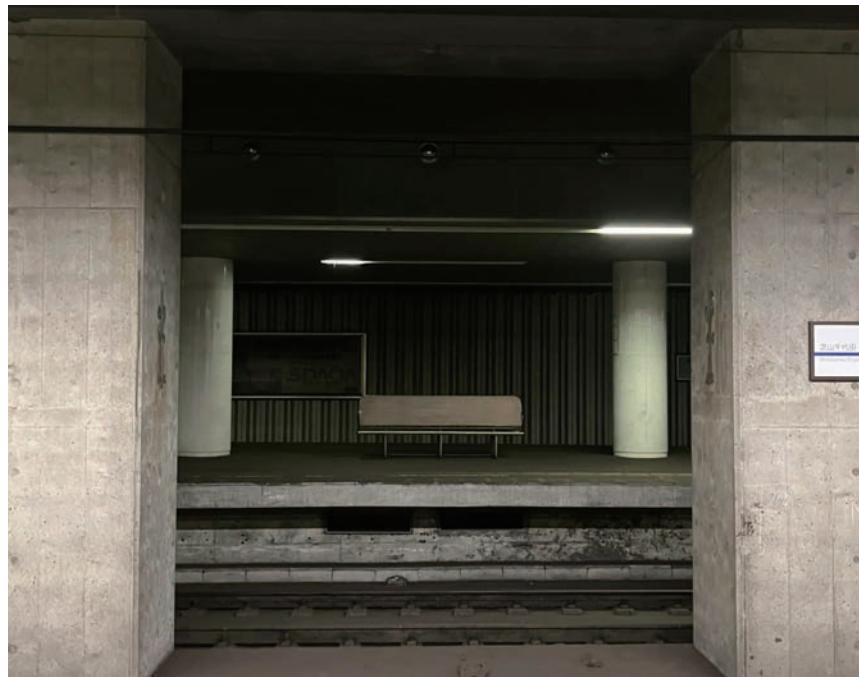


■発見者生年月日

2003年07月05日

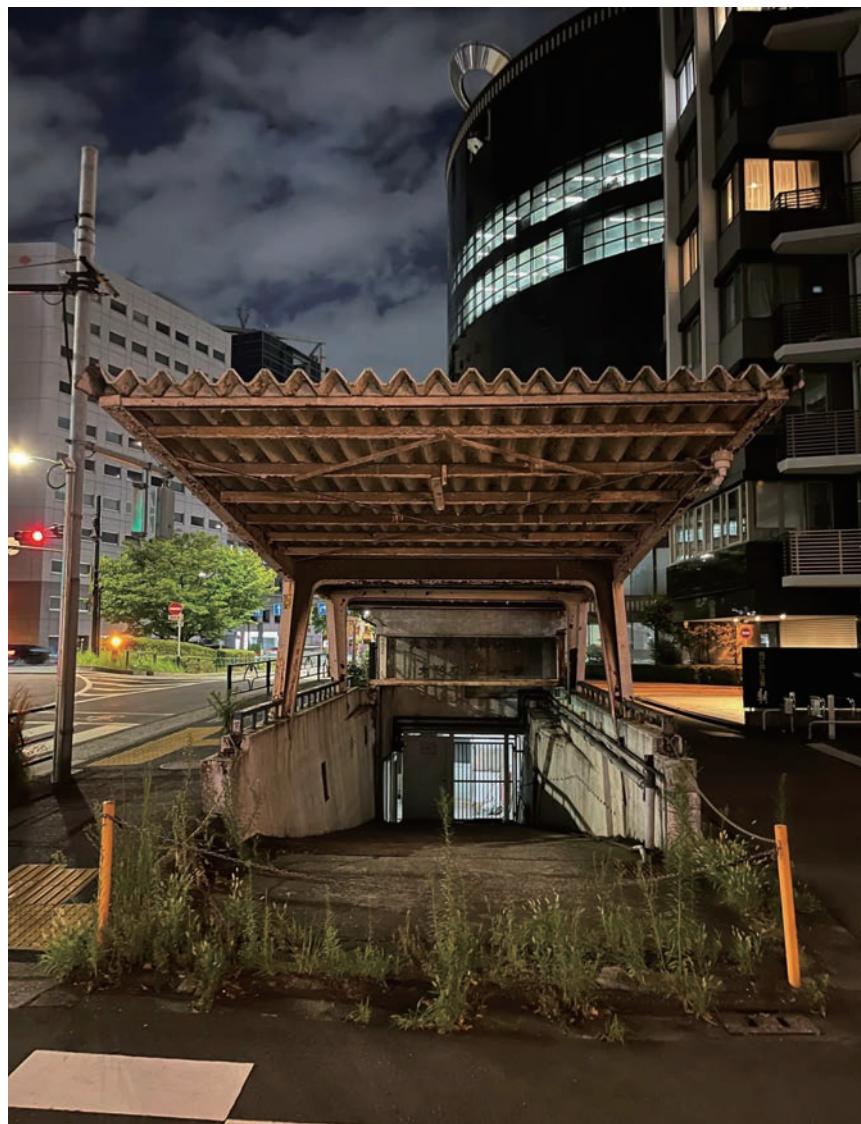
■発見者所感

光の加減が相まって反対側のホームが不気味になっていました。
 柱と柱の隙間から見える向こう側のホームは手前と全く雰囲気が
 変わっていて、大きな平面作品をみたような気持ちです。向こう
 側に行けばたらもっと良い Liminal Space が撮れるのに…！



■監修者所感

椅子としての機能を失った、誰も座れない椅子だからこそ不気味
 さを感じるのでしょうか。座れない椅子は椅子なのでしょうか。
 この椅子はオブジェに近いのではないのでしょうか。

登
録
番
号

082

不気味

■発見年月日

2025年08月14日(木)

■発見場所

秋葉原付近のとある場所

■発見時刻

21時00分

■発見者

まるり



■発見者生年月日

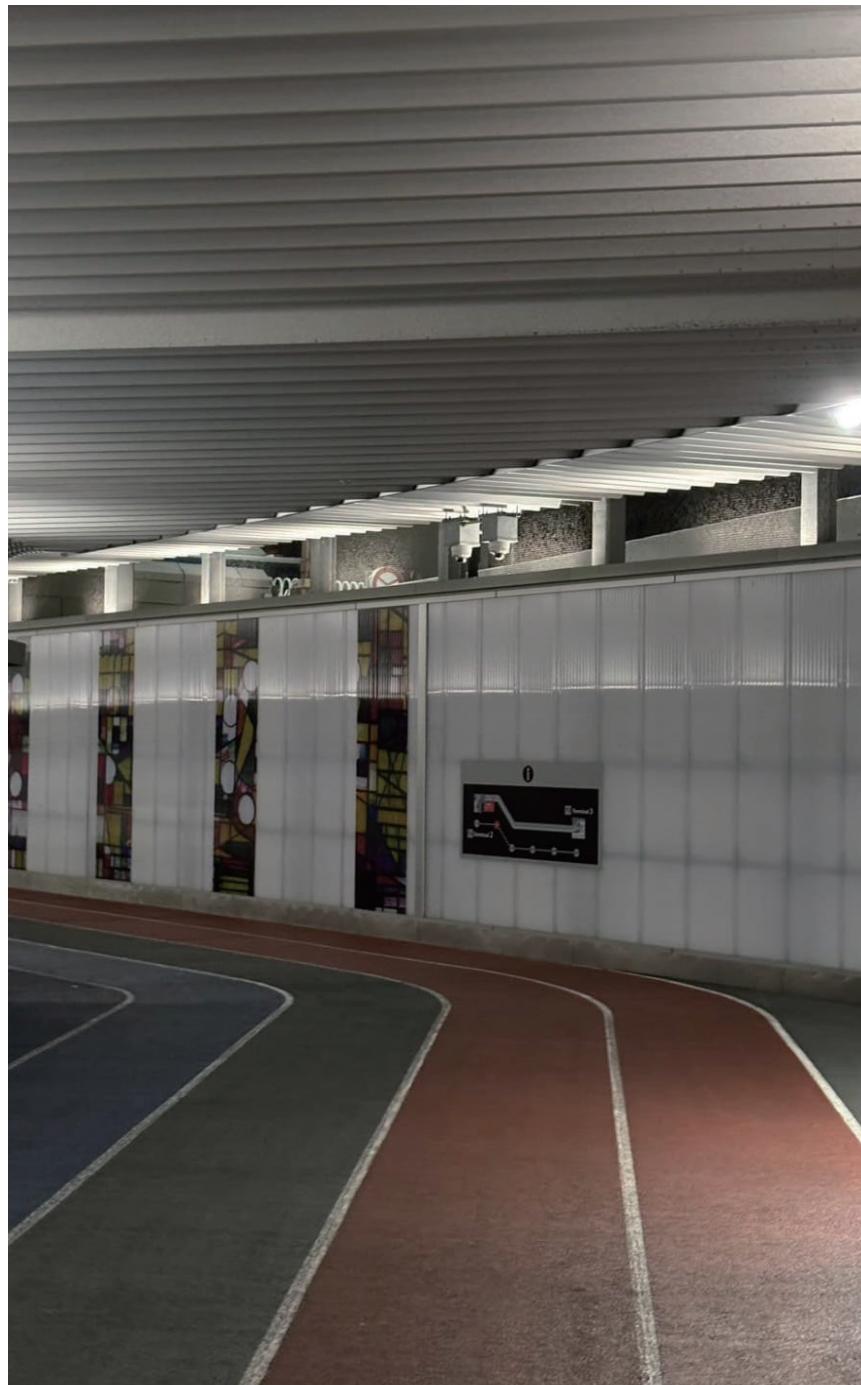
(不明)

■発見者所感

都内には不釣り合いな空間。あの先に何があるのか分からないのが不気味。

■監修者所感

チェーンの周りにだけ草が生えており、「何年も何もここを通っていないのだろう」という予測はできるのですが、電気がついている=人がいるというギャップが不気味に感じられます。

登
録
番
号

083

ファイナルラップ

■発見年月日

2025年08月14日(木)

■発見場所

成田空港第3ターミナルと第二ターミナルをつなぐ連絡路

■発見時刻

23時48分

■発見者

桐生千輝



■発見者生年月日

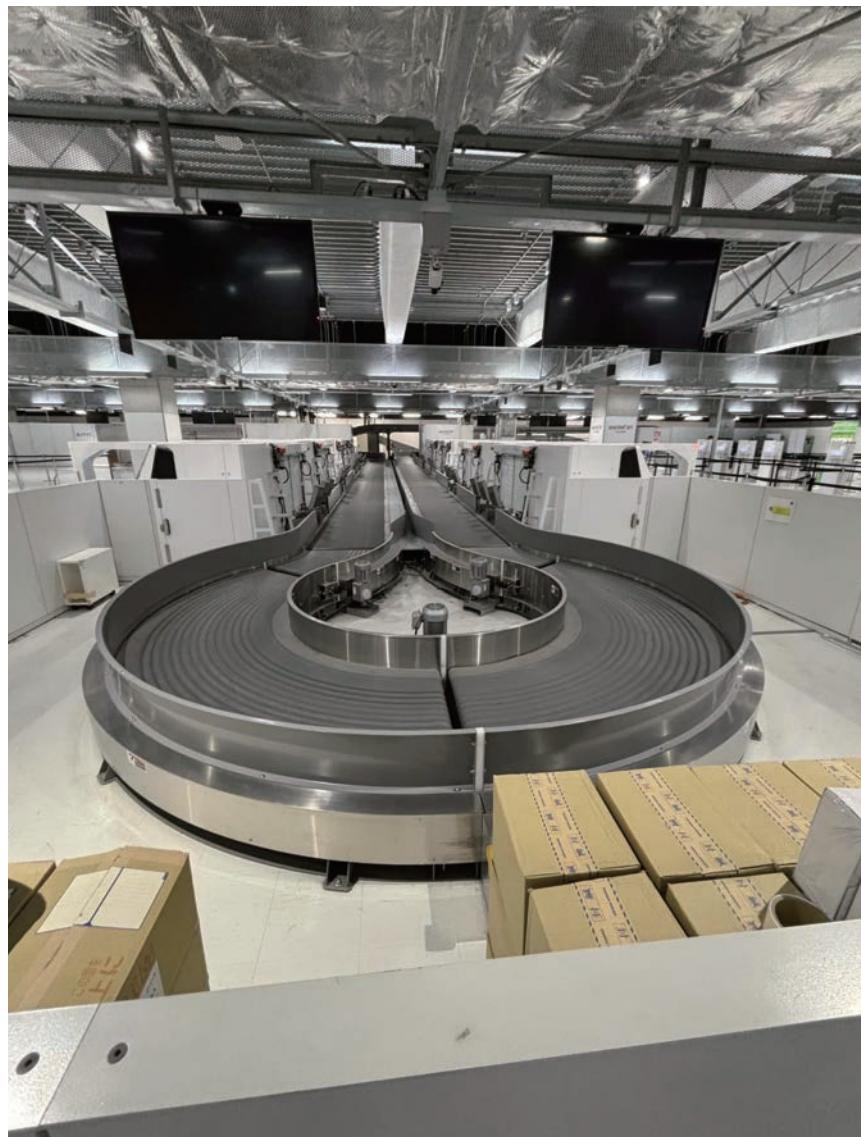
2003年06月13日

■発見者所感

コーナーから誰かが走ってくるような気がした。

■監修者所感

ここが運動場だったら Liminal Space だと感じないかもしれません
が、登録番号 063 の Liminal Space と同様、空港だからこそ違
和感を感じます。やはり走り出したくなります。

登
録
番
号

084

成田空港第三ターミナル

■発見年月日

2025年08月15日(金)

■発見場所

成田空港第3ターミナル

■発見時刻

22時12分

■発見者

桐生千輝



■発見者生年月日

2003年06月13日

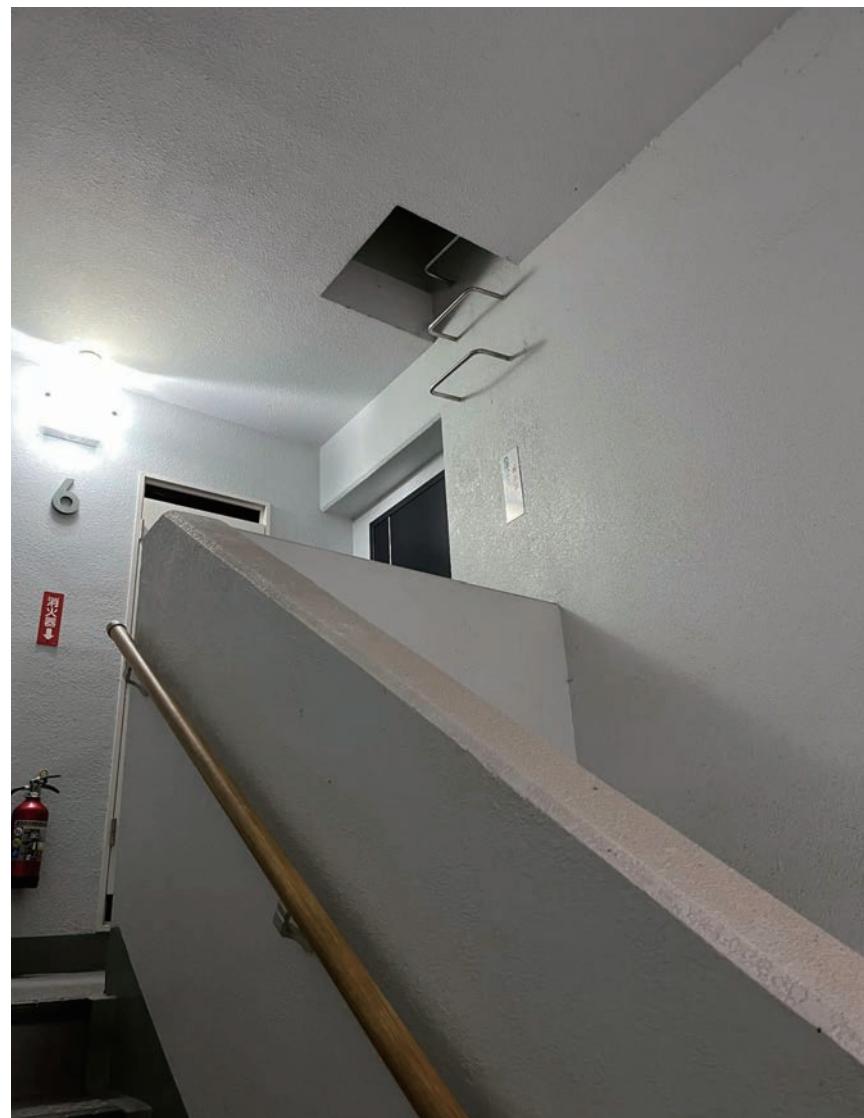
■発見者所感

成田空港を探索していたら見つけた。

テーマパークの入場口がこんな感じだったら面白そうだと感じたから。無人でいきなりこれに乗せられたらどこに行くのかわからなくて怖いだろうと思った。

■監修者所感

空港の高揚感、非日常感が伝わります。ベルトコンベアーより真っ暗のモニターによって、確かに行き先のわからなさがあり、想像力を掻き立てられるナラティブな Liminal Space です。



登 録 番 号	085	屋上への入り口
------------------	-----	---------

■発見年月日

2025年08月16日(土)

■発見場所

とあるマンション

■発見時刻

22時05分

■発見者

まるり

NO IMAGE

■発見者生年月日

(不明)

■発見者所感

屋上に行くためのあの階段が怖い

■監修者所感

天井にぽっかり四角の穴が空いていてホッチキスの芯のような手
すりがちょろっと出ており、規則性のある印象を受けます。先が
真っ暗で恐怖を感じます。どこにつながっているんでしょう。

登
録
番
号

086

煙人幻臭

■発見年月日

2025年08月16日(土)

■発見場所

フェリーハイビスカス

■発見時刻

22時54分

■発見者

桐生千輝

NO IMAGE

■発見者生年月日

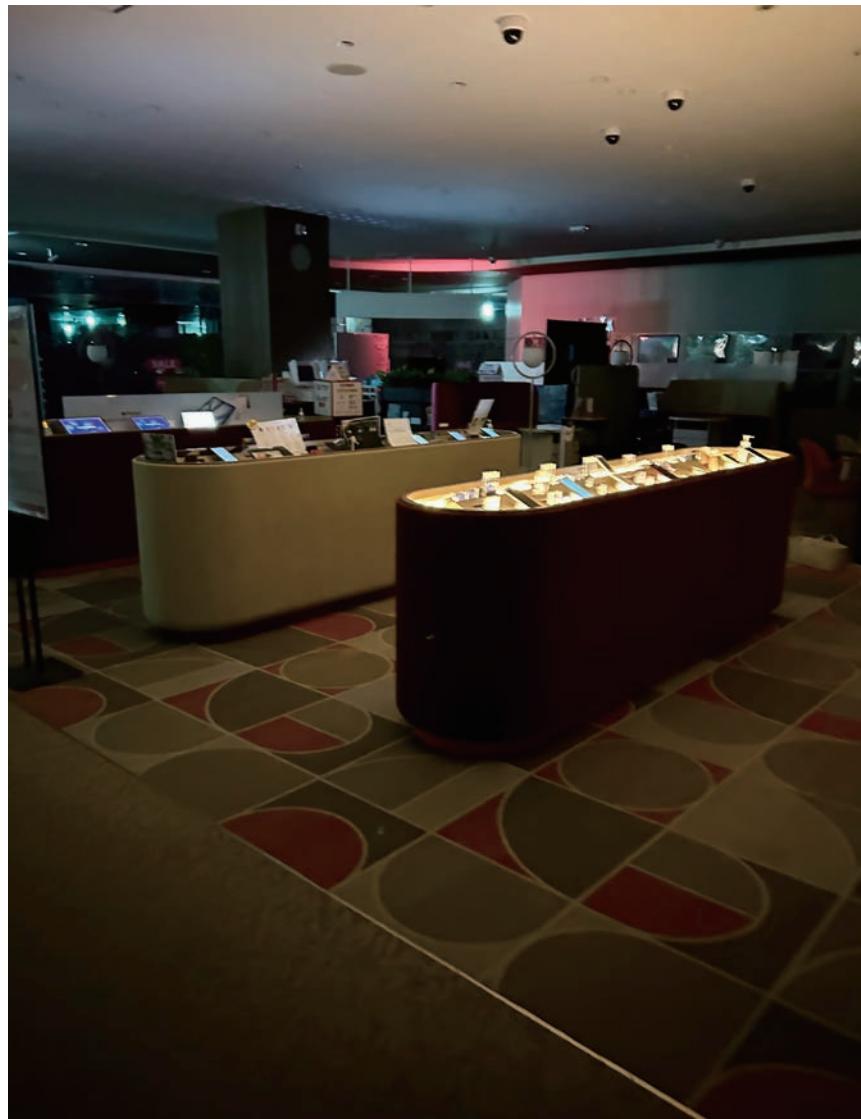
2003年06月13日

■発見者所感

誰もいないのに煙草の煙の匂いがした

■監修者所感

吸い殻入れが写っているので、所感を読むことで「さっきまで誰かがいた」という推測ができ、一気に人の気配を感じました。全体の雰囲気が登録番号057のLiminal Spaceに似ています。



登 録 番 号	087	灯
------------------	-----	---

■発見年月日

2025年08月18日(月)

■発見場所

イオンモール茨木

■発見時刻

22時04分

■発見者

びびび



■発見者生年月日

2003年11月20日

■発見者所感

バイト終わり、イオンより退店しようとした際。消灯後、人気のない中携帯だけがほのかに光る異質さに不気味さを感じた。

■監修者所感

閉店後の携帯ショップのことを考えたことがなかったので、画面が光ったままだと初めて知りました。無人なのにライトがついている不気味さと床の模様のレトロ感がマッチしています。



登 録 番 号	088	bluegreen
------------------	-----	-----------

■発見年月日

2025年08月24日(日)

■発見場所

〒270-1456 千葉県柏市泉 1240-1
青少年自然の家

■発見時刻

20時31分

■発見者

N嶋



■発見者生年月日

2003年07月05日

■発見者所感

合宿所の宿泊棟の一階突き当たりです。

暗い廊下の先がぼんやり緑に光っていて、行ってみると洗濯機が置かれていました。怖かったので走って部屋に帰りました。非常口なのに停止サインが貼ってあることにも不気味さを覚えます。

■監修者所感

千葉県のエメラルドの都です。東京都のエメラルドの都は塗料で塗られていましたが、こちらは非常口の明かりひとつで空間が緑色になっていることで、全体の不気味さ、仄暗さが出ています。

登
録
番
号

089

トイレへの道

■発見年月日

2025年08月29日(金)

■発見場所

〒451-0031 愛知県名古屋市西区城西
4-3208 浄心駅

■発見時刻

22時00分頃

■発見者

森川る



■発見者生年月日

2000年05月10日

■発見者所感

通勤のたびにこの路線だけどんよりしてるなあと思っている。

■監修者所感

この一枚に映るピクトグラム（トイレや非常口のサイン）の多さに注目しました。無人だからこそ際立つ記号の存在感に意識がいきました。見切れていたり、大きさが異なる点も不気味です。

登
録
番
号

090

行き止まり



■発見年月日

2025年09月04日(水)

■発見場所

東京都中央区日本橋(東京駅?の駅構内)

■発見時刻

22時29分

■発見者

びびび



■発見者生年月日

2003年11月20日

■発見者所感

電車を乗り換えようとしている際。おそらく普段は空いているであろうシャッターが閉まっていることで、なんのためのスペースかわからない空間できあがり、またその薄暗さも相まって不気味さが漂っていた。

■監修者所感

写真を見た時は暗い通路だな、と思ったのですが「普段は開いているシャッターが閉まっている」という所感で印象が変わりました。閉ざされたことで偶然闇が出来上がった貴重な1枚です。



登 録 番 号	091	湿氣
------------------	-----	----

■発見年月日

2025年09月09日(火)

■発見時刻

06時19分

■発見者

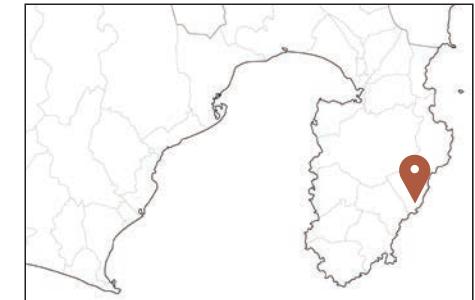
しんた

■発見者生年月日

2003年04月10日

■発見場所

〒413-0411 静岡県賀茂郡東伊豆町稻取 3349-1 伊豆リゾートヴィラ



■発見者所感

朝風呂に行く手前の廊下で見つけた。他は電気がついてるのに
 不自然に暗かったから目に入った。友人たちが先を急ぐ中、興味
 を惹かれてシャッターを下ろした。聞いたことのない鳥の声が窓
 の隙間から聞こえた。

■監修者所感

比較的黄緑が強いですが、静岡県のエメラルドの都です。ロッカールームもコピー&ペーストしたような空間になっており、連続性
 のある奇妙さがあります。

登
録
番
号

092

猿島のトンネル

■発見年月日

2025年09月11日(木)

■発見場所

〒238-0019
横須賀市猿島1 猿島公園

■発見時刻

12時46分

■発見者

砂川夏奈 川野史香



■発見者生年月日

2003年07月08日 2003年11月01日

■発見者所感

自然を楽しみたくて猿島公園を巡っていたらトンネルを見つけた。トンネルの中の影が黒い闇に見えるのと、出口が見えない感じが怖い。草と古びたレンガにも異様な雰囲気を感じる。旧軍施設（日本軍）として利用されていたから尚更何かを感じる。

■監修者所感

存外少ない「トンネル」の Liminal Space です。生い茂る草と闇へのグラデーションから不気味な雰囲気を感じます。モザイクタイルがデジタルのノイズのようなデザインになっています。

登
録
番
号

093

近未来

■発見年月日

2025年09月11日(木)

■発見場所

〒554-0031 大阪府大阪市此花区桜島
2-1-33 USJ

■発見時刻

13時42分

■発見者

桐生千輝



■発見者生年月日

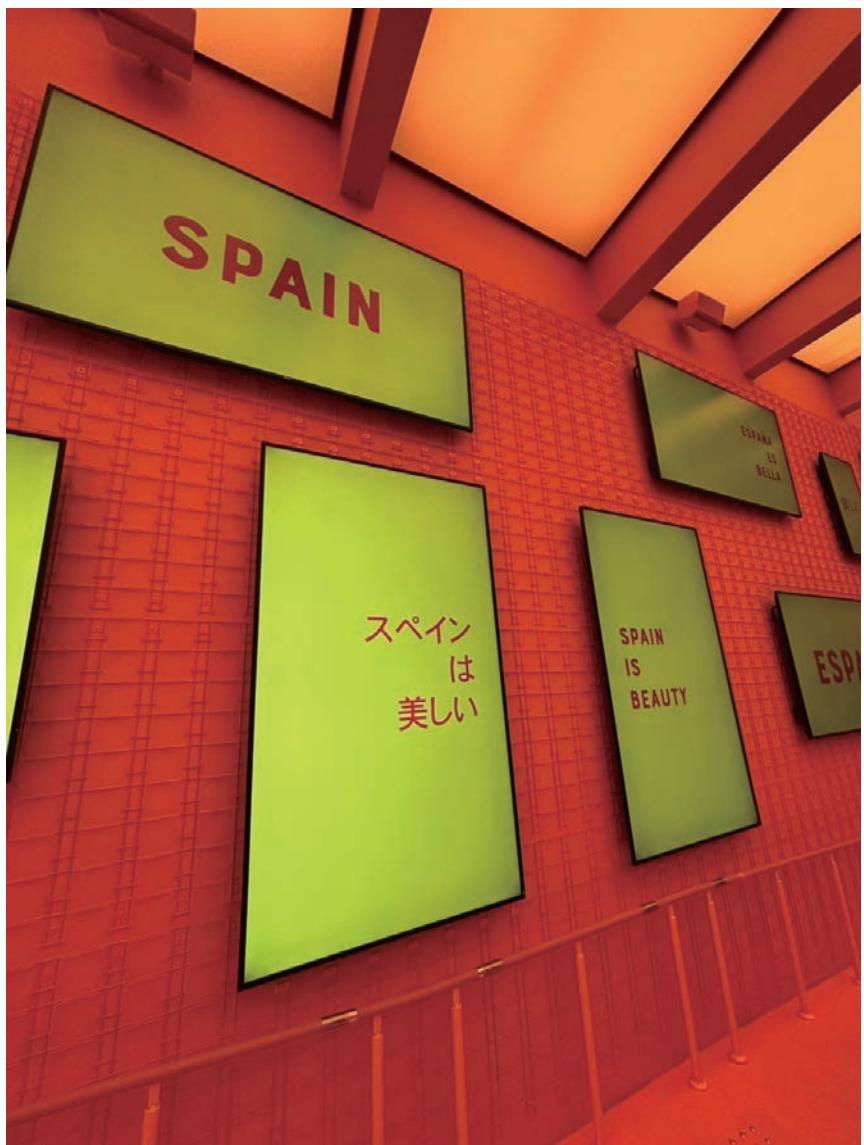
2003年06月13日

■発見者所感

未来への道がどこまでも伸びているように見えた。

■監修者所感

テーマパークの非日常感は、Liminal Space になりやすいと考えられます。しかし、注意深く観察すると見えてくるローソンのロゴが一気に現実味を引き起こしており、妙に感じられます。

登
録
番
号

094

エスパニョーラ

■発見年月日

2025年09月12日(金)

■発見場所

大阪万博スペイン館

■発見時刻

12時51分

■発見者

桐生千輝



■発見者生年月日

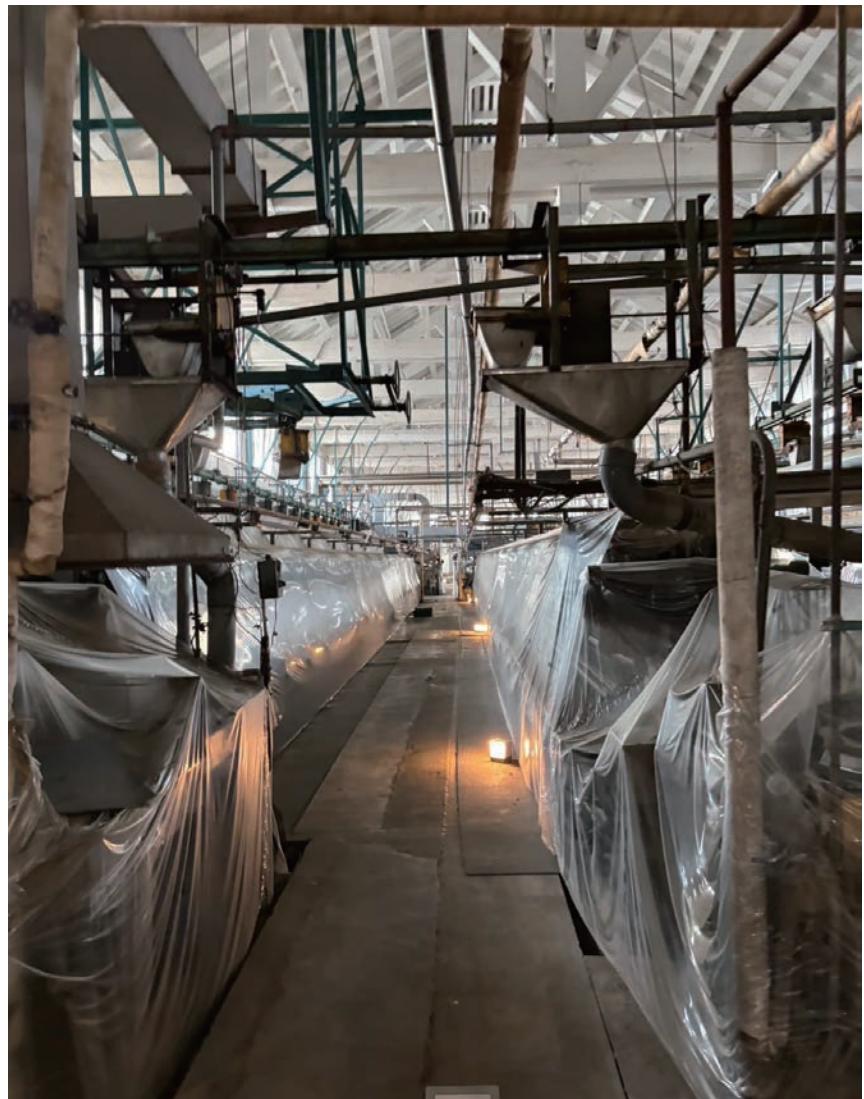
2003年06月13日

■発見者所感

誰かの夢の中にいるような光景だった。

■監修者所感

「誰かの夢の中」という表現が面白いと思いました。色々書いてありますが結局は「スペイン」と「美しい」ということしか書かれておらず、言葉の意味にも奇妙さを含む Liminal Space です。

登
録
番
号

095

製糸

■発見年月日

2025年09月15日(月)

■発見場所

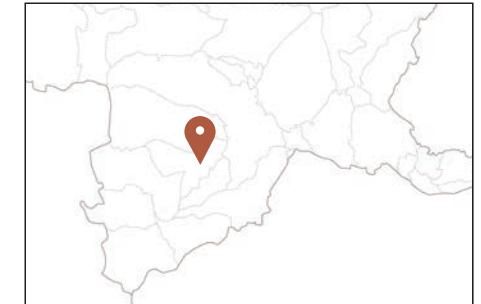
〒370-2316 群馬県富岡市富岡1-1
富岡製糸場

■発見時刻

16時34分

■発見者

桐生千輝



■発見者生年月日

2003年06月13日

■発見者所感

誰かが紡いでた糸も、どこかにまだあるかもしれない。

■監修者所感

大きな機械がビニール袋をかぶって、眠っているような1枚です。

音を立てて動き続ける機械のイメージとは対照的に、静けさを感じる Liminal Space です。

登
録
番
号

096

公園のトイレ

■発見年月日

2025年09月19日(金)

■発見場所

〒270-0163
千葉県流山市南流山1-16

■発見時刻

16時51分

■発見者

まるり



■発見者生年月日

(不明)

■発見者所感

夜のトイレは怖い

■監修者所感

広い公園のど真ん中にポツンと光る小屋に奇妙さを感じます。コンビニの光に集まる虫のように、吸い込まれそうになるような感覚がありました。





登 録 番 号	097	満月の練習
------------------	-----	-------

■発見年月日

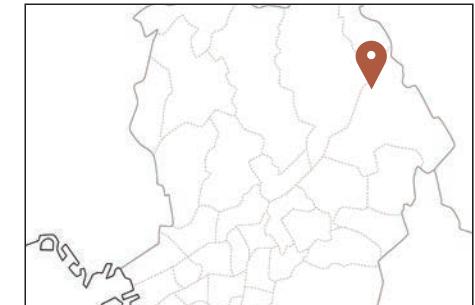
2025年09月20日(土)

■発見場所

〒573-0054 大阪府枚方市枚方公園町
1-1 ひらかたパーク

■発見時刻

21時09分



■発見者

N嶋

■発見者生年月日

2003年07月05日

■発見者所感

変わった椅子だな、と思って写真を撮ったら奥のライトが月のように見えて、椅子たちがそれの真似をしているように見えました。奥のジェットコースターが月に向かって動く龍みたいにも見えます。

■監修者所感

「変わった椅子」「コピー＆ペースト」「遊園地」のコラボレーションが起こっている Liminal Space です。夜の遊園地もなぜか楽しい雰囲気を感じます。

登 録 番 号	098	静止
------------------	-----	----



■発見年月日

2025年09月25日(木)

■発見場所

イオンモール茨木

■発見時刻

21時58分

■発見者

びびび



■発見者生年月日

2003年11月20日

■発見者所感

アルバイト後、閉店したイオン内にて。普段は人がいたり、忙しく動いているエレベーターが、誰もおらず止まっているその静的な空間に不気味さを感じた。

■監修者所感

ショッピングセンターに似つかわしくない人の気配のなさと暗さに加え、一方向を向いて並んでいる椅子が病院の待合室のようで不気味に感じました。椅子の先には何があるのでしょうか。

登
録
番
号

099

夕方の部屋

■発見年月日

2025年09月28日(日)

■発見場所

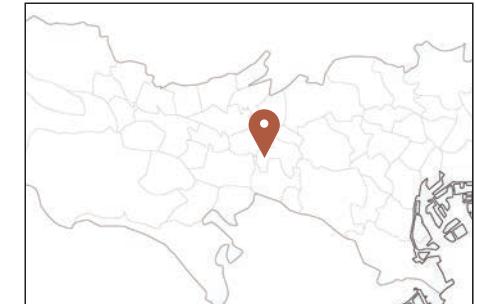
〒181-0015
東京都三鷹市大沢2-2-8

■発見時刻

12時23分

■発見者

桐生千輝



■発見者生年月日

2003年06月13日

■発見者所感

部屋全体に広がるオレンジは、放課後の家に帰ってきた時の記憶
を思い出させる気がする。

■監修者所感

いつ帰ってきても夕方の珍しい部屋です。夕方は1日の中でも
短い時間なので、一日中夕方だと違和感を感じます。吊られた
リュックサックも放課後感を演出しています。

登
録
番
号

100

虚構の空



■発見年月日

2025年11月03日(月)

■発見時刻

17時19分

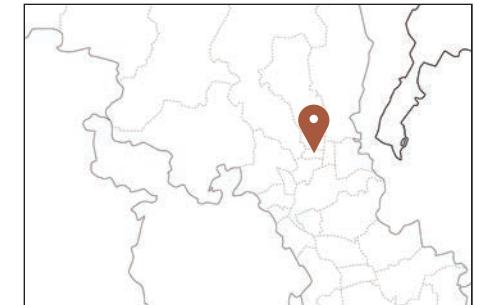
■発見者

すぎさち

■発見者生年月日

1966年05月08日

■発見場所

〒600-8153 京都府京都市下京区廿人
講町36 重信会館

■発見者所感

背後から雲に襲われるような、そんなおどろおどろした気配を感じました。

■監修者所感

最後の Liminal Space です。蔦が生い茂る小屋と、夜になりかけている空にもくもくと広がる雲が不気味さを感じさせます。小屋についていた灯の黄色が美しいです。

「奇妙」と「不気味」は違うもの

監修者所感で「奇妙」や「不気味」という言葉を使ってきましたが、適当に選んでいるわけではなく、実は意図して使いわけていました。

そのきっかけとなった本が、イギリスの批評家マーク・フィッシャーの書いた『奇妙なもの、ぞつとするもの—小説・映画・音楽・文化論集』です。



フィッシャーは奇妙なもの (the weird) を「同じところに属していない2つ以上のもの」と表し、不気味なもの (the eerie) を「何もないはずなのにどうしてあるのか、あるはずなのになんでないのかわからないもの」と表しました。ベルギー出身のシュレアリストの画家であるルネ・マグリットの作品を例に2つの言葉を見てみましょう。

奇妙なもの

同じところに属していない2つ以上のもの



《個人的な価値》1952年 / 油彩 キャンバス

不気味なもの

あるはずなのにならないもの



《観念》1966年 / 油彩 キャンバス

「奇妙」と「不気味」の違いについて伝わったでしょうか？シュルレアリズム（超現実主義）の絵画は奇妙さ・不気味さの強く出ている作品が多いので、ぜひ注目してみてください。

Chapter 03

おわりに

あなたと Liminal Space の世界が、もっと広がりますように

Liminal Space のこれから

探す

一番手軽なのは探してみることです。Liminal Space はどこに現れるかわかりません。そもそも、見つけようという意識がないと見つかりません。しかし、この本を読んだあなたならきっと見つけることができるはずです。「無人で奇妙な雰囲気をもつ空間」という頻出条件はあるものの、あなたが Liminal Space だと思ったらそこは Liminal Space です。



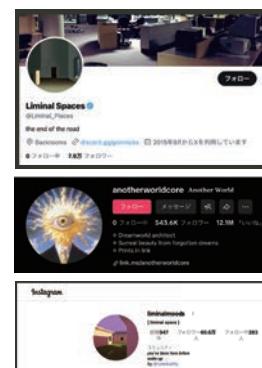
写真を撮る

見つけたら、ぜひ写真をとってみましょう。性能の良いカメラよりも、普段使っているスマートフォンなどで撮影した方が、写真を見た人が自分もそこにいるかのような感覚を引き起こすことができます。専門的な技術や機材が必要でないので、とても手軽な入り口になっています。



写真を撮る

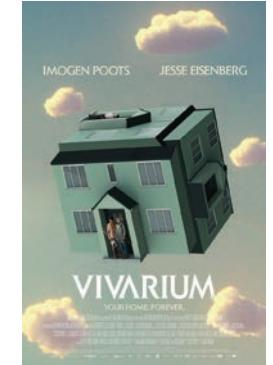
「もっと Liminal Space が見たい」と思った方は SNS を見ることがおすすめです。X（旧 Twitter）、Instagram、TikTok には Liminal Space を投稿する専用のアカウントが存在しており、世界中のクリエイターが発見・作成した Liminal Space を見ることができます。SNS 上は現実世界の Liminal Space よりもデジタル空間の Liminal Space が多くなっています。



最後に、この本を手にとってくれたあなたに、これから Liminal Space の楽しみ方をご紹介します。

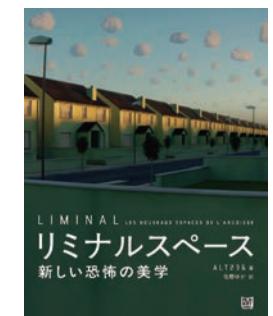
動画・映画を見る

Liminal Space が普及されるきっかけとなった『The Backrooms (Found Footage)』は動画でした。YouTube から見ることができます。また、映画ではロルカン・フィネガン監督の『ビバリウム』の世界観が Liminal Space のような雰囲気を持っています。どちらも人によってはホラーに分類される可能性があるので、お気をつけてご覧ください。



本を読む

2025年9月にフィルムアート社から『リミナルスペース 新しい恐怖の美学』という本が発売されました。世界で初めて Liminal Space を扱った専門書です。不気味さ・奇妙さ・不確かさ・美しさについて、建築・ゲーム・アートなど様々な角度から学びを深めることができます。



ゲームで遊ぶ

Liminal Space をモチーフとしたゲームが増えています。『SUPERLIMINAL』『POOLS』『LIMSCAPE : THE LIMINAL SPACE EXPLORER』『The Complex: Found Footage』など海外の作品がほとんどですが、字幕がついていたり、言語がなくても楽しめたりする作品が多くあります。自分でプレイせずとも、ゲーム実況などで楽しむ方法もあります。



あとがき

いかがでしたか？

あなたの知っている場所はありましたか？

Liminal Space の面白さが伝わったでしょうか。

Liminal Space という概念を知っている人が一人でも増えることを嬉しく思います。ぜひ、あなたの Liminal Space を見つけてください。そして、記録に残してください。今まで誰も気に留めることのなかった場所に、あなたがスポットライトを当ててください。美術は意外にも生活のいたるところに溶け込んでおり、そこはあなただけが見つけた作品になります。

最後に、Liminal Space を報告してくれた 35 人のみなさま、制作に携わっているすべてのみなさま、そしてここまで読んでくれたあなたに、心より感謝を申し上げます。

ありがとうございます。

また、狭間でお会いしましょう。

内田玲央

用語集

バックルーム（Backrooms）

出口のない無人の室内空間がどこまでも続く、クリーピーパスタの1つ。（註1）

ネット怪談（クリーピーパスタ）

ネット上で生まれ、ネット上で広まった怖い話。（註2）「クリーピーパスタ」はコピーアンドペースト（copy & paste）をもじったコピーパスタ（copypasta）に「気味の悪い」を意味するクリーピー（creepy）を組み合わせた造語。（註3）

ネットミーム

インターネットを通じて人から人へ広がってゆく文化、行動。ミーム（meme）とは、文化的な情報の単位であり、人から人へと模倣を通じて伝播する現象を指す。（註4）

モキュメンタリー

mock（まがいもの）+ documentary（実録）から生まれた造語。ドキュメンタリーの手法を用いて、事実であるかのように表現されたフィクション作品。（註5）

線遠近法（一点透視図法）

（156.pに補足）西洋では、平面に立体空間を描く試みは古代ギリシャ・ローマ時代にすでに見ることができるが、15世紀、イタリアのルネサンス期に至り「線遠近法」としての理論が確立された。（註6）Liminal Spaceには1つの消失点を持つ「一点透視法」が多く見られている。

シェルレアリズム（超現実主義）

芸術家の無意識を抑圧しないで、思考の遊びとして創作することを重視した運動。極めて自由なコンセプトから、数多くの奇妙で夢幻的な作品が、あらゆる表現手段で生み出された。（註7）

註1：廣田龍平『ネット怪談の民俗学』早川書房、2024年、28.p

註2：廣田龍平『ネット怪談の民俗学』早川書房、2024年、3.p

註3：廣田龍平『ネット怪談の民俗学』早川書房、2024年、28.p

註4：「インターネットミーム」『Weblio辞書』<https://www.weblio.jp/content/%E6%96%87%E5%AD%A3%E3%82%AA%E3%82%AF>

註5：「モキュメンタリー」『コトバンク』<https://kotobank.jp/word/%E6%9C%89%E5%8A%A8%E3%82%AA%E3%82%AF>-2784323

註6：「透視図法（線遠近法）」『MAU 造形ファイル』<https://zokeifile.musabi.ac.jp/> 透視図法（線遠近法）

註7：ALT236『リミナルスペース 新しい恐怖の美学』佐野ゆか訳、フィルムアート社、2025年、39.p

参考文献

1. フロイト『フロイド不安の問題』井村恒郎・加藤正明訳、日本教文社、1955年
2. U・サイナー『認知の構図 人間は現実をどのように捉えるか』古崎敬・村瀬晏訳、サイエンス社、1978年
3. 赤瀬川原平『超芸術トマソン』白夜書房、1985年
4. 河合隼雄『生と死の接点』岩波書店、1989年
5. 赤瀬川原平『トマソン大図鑑 空の巻』ちくま文庫、1996年
6. 赤瀬川原平『トマソン大図鑑 無の巻』ちくま文庫、1996年
7. アンソニー・ヴィドラー『不気味な建築』大島哲蔵・道家洋訳、加島出版会、1998年
8. 錢清弘「リミナルスペースのなにが不気味なのか」『obakewab』<https://obakeweb.hatenablog.com/entry/liminalspace>、2021年
9. 木澤佐登志「【コラム】Liminal Space とは何か」『fnmnl』<https://fnmnl.tv/2021/11/16/139203> fnmnl、2021年
10. マーク・フィッシャー『奇妙なものとぞっとするもの——小説・映画・音楽、文化論集』五井健太郎訳、ele-king books、2022年
11. 青柳西蔵『場所同一性と関連する諸概念』駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部、<https://researchmap.jp/saizo.aoyagi/misc/43727503>、2023年
12. 廣田龍平『ネット怪談の民俗学』早川書房、2024年
13. 德山祐耀・中村恭子『外部へ通ずるリミナルスペース－ノスタルジアにおけるトラウマ構造と芸術的展開－』共創学会、2025年
14. ALT236『リミナルスペース 新しい恐怖の美学』佐野ゆか訳、フィルムアート社、2025年

LIMINAL SPACE 100

2025年8月5日 第1刷発行

2025年9月6日 第2刷発行

監修 内田玲央 美術評論家。1986年04月15日生まれ
武蔵野美術大学 造形学部 芸術文化学科 卒業
代表作に『ミステリーオブアーツ：ウィトルウィウス的人体図』『アイルワース』などがある。

編集 桐須瑛人
デザイナー 中嶋汐彩

調査協力 M.H.、N嶋、Wisteria、yudaiori、エカタタ、川野史香、木方唯花、
桐生千輝、しみしゅー、下野凜、しんた、杉浦璃々子、すぎさち、
鈴木雅子、砂川夏奈、田邊和、ちひろ、ないとー、中島惣貴、なな、
ハリー、びびび、ひろ、ふちゃん、松松、松本、まるり、森川る、やつ
くん、やっぴー、吉村暖禾（その他匿名報告4件）

発行所 狹間書房 〒 XXX-XXXX 東京都新谷区神宮前1-2-365 山鳥ビル

印刷・製本所 ラクスル株式会社

本書の不備(落丁・乱丁など)については、担当者が確認いたします。
右のQRコードにアクセスし、狭間書房公式サイトの「お問い合わせ」
よりご連絡ください。



狭間書房公式HP
<https://hazamashobo.github.io/main/index.html>

